

市内小中学校施設等の現状把握に向けた  
教員アンケート調査結果報告書

令和3年6月

中間市教育委員会 教育施設課



# 目 次

I	調査概要	1
II	調査結果	
1	学校の現状	
(1)	年齢構成	2
(2)	勤続年数	2
(3)	学校の施設設備	3
(4)	学校の児童生徒数や学級数の状況について	7
(5)	施設設備面、児童生徒数における課題や問題点、改善点	17
2	中間市の将来の学校のあり方について	
(1)	中間市の将来の学校のあり方	19
(2)	小中一貫校や学校の自由選択制、学校施設と市民体育館や図書館、 プールなどの複合化の取組み	30
(3)	将来の学校のあり方や学校と地域との関わりについて	34
(参考)	市内小中学校施設等の現状把握に向けた教員アンケート調査票	



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

中間市教育委員会では、今後の学校施設のあり方を検討するため、学識経験者、小中学校PTA代表、地域代表者、校長代表、教員代表をお招きし、「**中間市学校施設再編基本計画策定委員会**」を開催している。学校施設の老朽化、児童生徒数の減少、ICT教育などの教育内容の多様化や新型コロナウイルス感染症などの環境の変化等、さまざまニーズに対応できる充実した教育環境の構築は喫緊の課題である。

本アンケートでは、中間市学校施設再編基本計画の策定に向け、現在の小中学校の施設の状況や児童生徒の学校における生活環境を把握し、将来の学校のあり方を検討する基礎資料とするため、教員の方を対象として実施した。

## 2 調査対象

校長、教頭、主幹・指導教諭、教諭、助教諭、講師（非常勤講師を除く） 228名  
※育児休暇や長期研修による不在者は対象外。

## 3 調査期間

令和3年5月18日（火）から6月4日（金）まで

## 4 調査結果利用上の注意

- (1) 設問については、四捨五入等の端数処理により、100%にならない場合がある。
- (2) 設問の内容や回答数により、サンプル数が異なる。
- (3) 小中学校の学校規模は、下記のとおりである。

### <小学校>

小規模校           ••• 底井野小学校 中間小学校  
適正規模校       ••• 中間東小学校 中間北小学校 中間南小学校 中間西小学校

### <中学校>

小規模校           ••• 中間中学校 中間北中学校 中間東中学校 中間南中学校

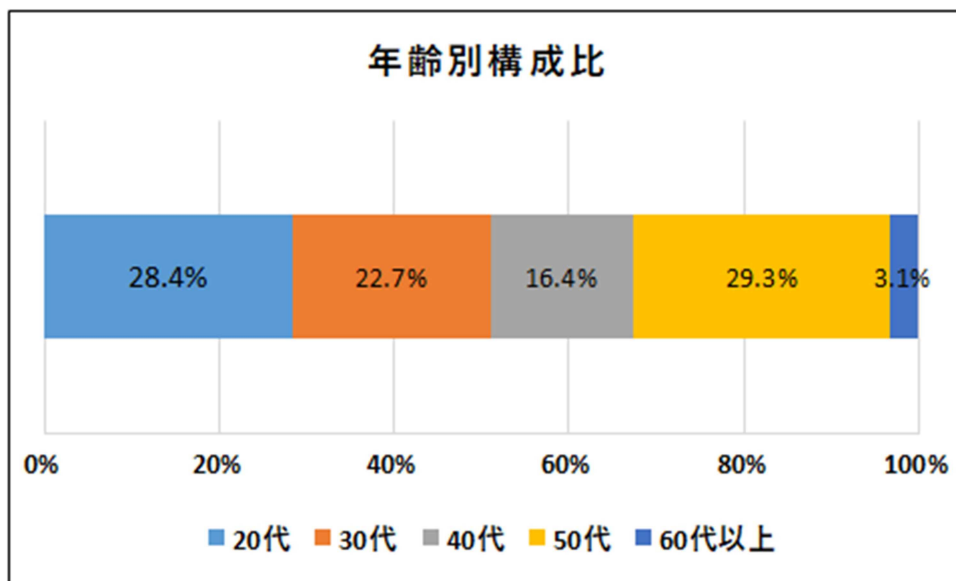
※規模別区分の学級数には、研究指定又は弾力的運用を含むが、特別支援学級は含まない。  
(2019年学校基本調査)

## Ⅱ 調査結果

### 1 学校の現状について

#### (1) 年齢構成

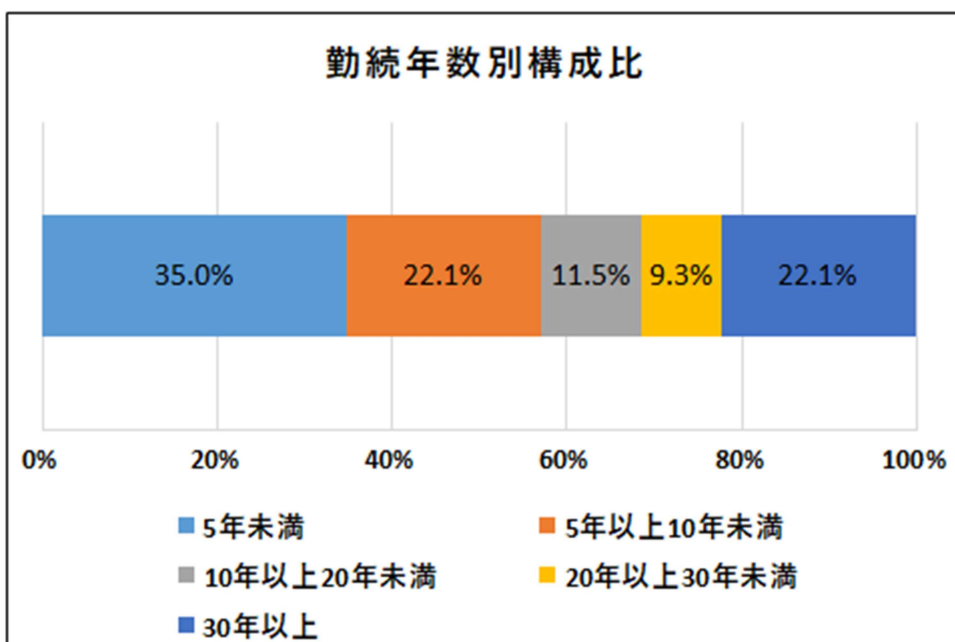
教員の年齢構成は、50代が29.3%ともっとも多く、続いて、20代が28.4%、30代が22.7%となっている。



(サンプル数)225

#### (2) 勤続年数

教員の勤続年数は、5年未満が35%ともっとも多く、5年以上10年未満と30年以上が、22.1%となっている。

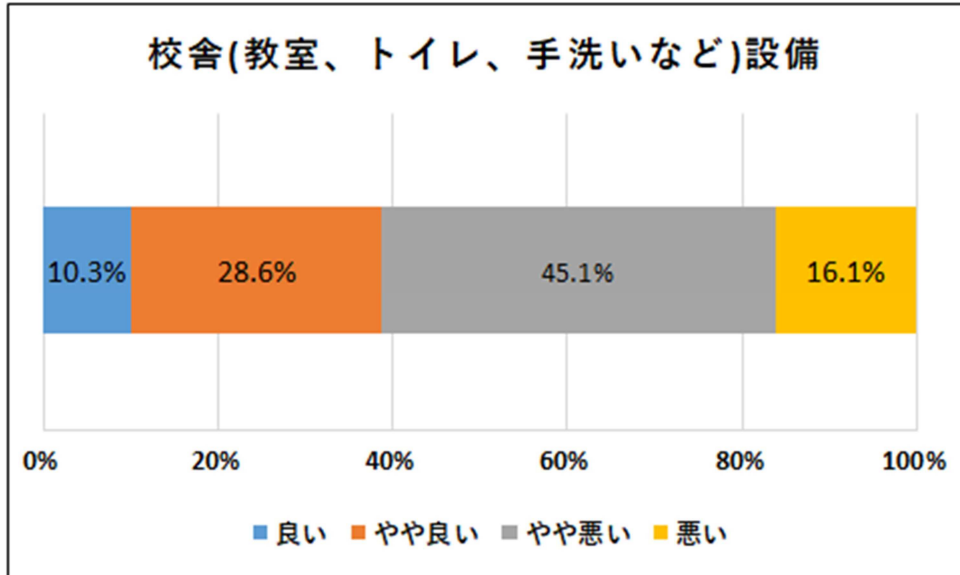


(サンプル数)226

### (3) 学校の施設設備の状況について

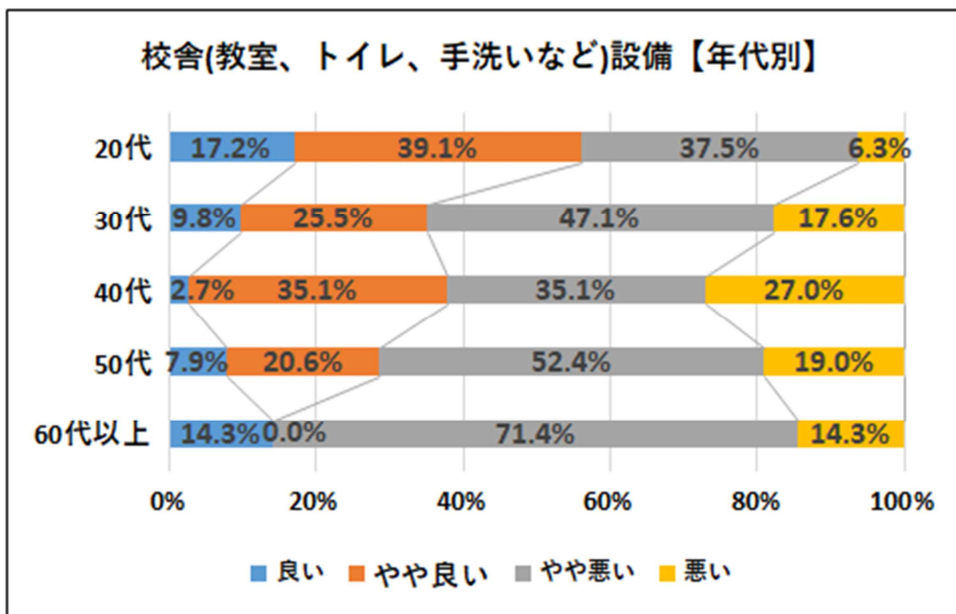
#### ①校舎（教室、トイレ、手洗いなど）の設備状況

校舎（教室、トイレ、手洗いなど）の設備状況は、「やや悪い」「悪い」の合計が61.2%と約6割を超えている。



(サンプル数)224

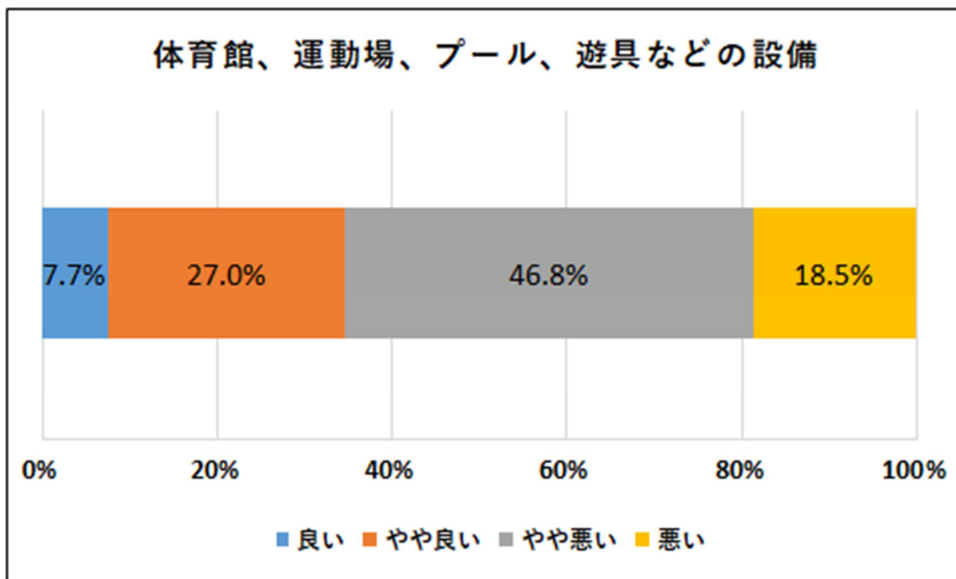
校舎の設備状況を年代別にみると、年代が上がるほど悪いと感じている割合が多く、50代では7割を超え、60代以上では8割を超えている。



(サンプル数)20代:64、30代:51、40代:37、50代:63、60代以上:7

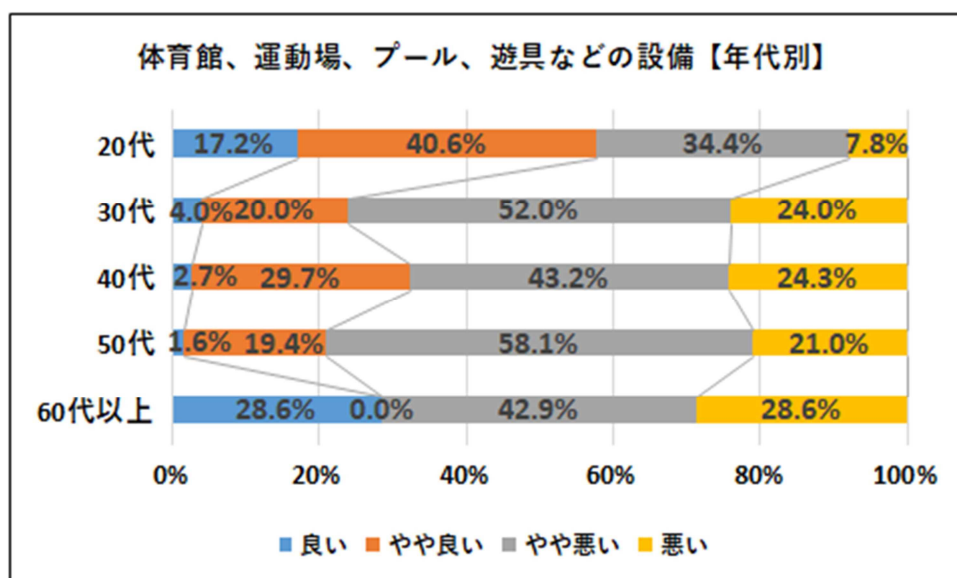
## ②体育館、運動場、プール、遊具などの設備状況

体育館、運動場、プール、遊具などの設備状況は、「良い」「やや良い」が34.7%、「やや悪い」「悪い」が65.3%となっており、「やや悪い」「悪い」と感じている方が、6割を超えている。



(サンプル数)222

体育館、運動場、プール、遊具などの設備について、年代別でみると、20代では、「良い」「やや良い」と感じている方が、57.8%と5割を超えているが、その他の年代では、「やや悪い」「悪い」と感じている方が、6割以上となっている。

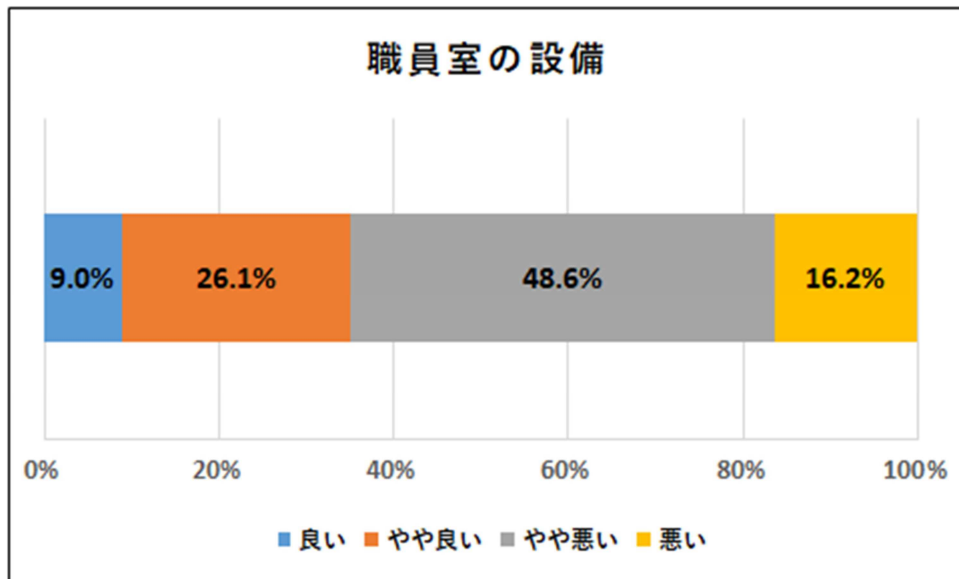


(サンプル数)20代:64、30代:50、40代:37、50代:62、60代以上:7



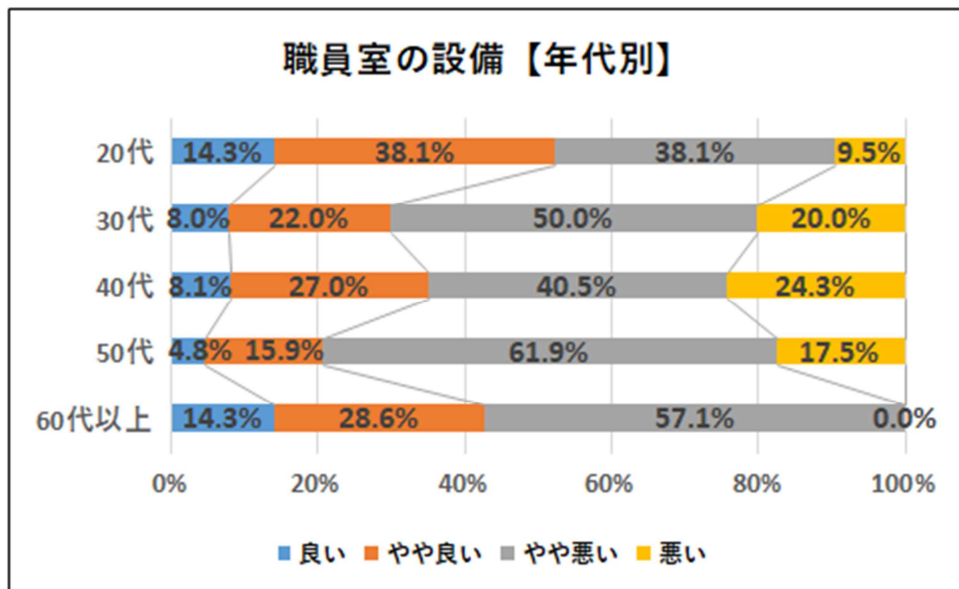
### ③職員室の設備状況（部屋の広さ、執務のしやすさ、パソコンの環境など）

職員室の設備状況は、「良い」「やや良い」は35.1%、「やや悪い」「悪い」は64.8%となっており、「やや悪い」「悪い」と感じている方が、6割を超えている。



(サンプル数)222

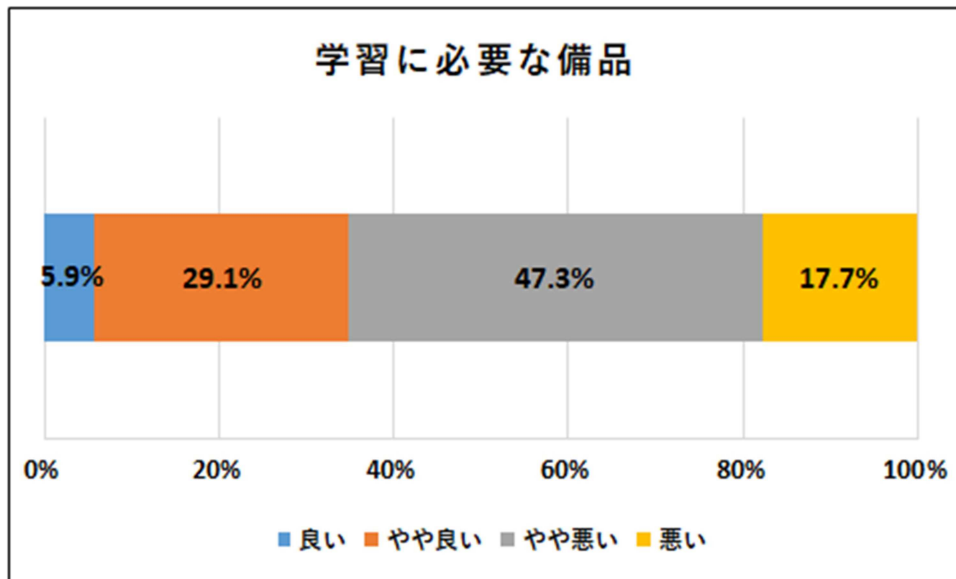
職員室の設備状況を年代別にみると、20代では「良い」「やや良い」が52.4%と5割を超えているが、その他の年代では、「やや悪い」「悪い」が5割を超え、50代では約8割となっている。



(サンプル数)20代:63、30代:50、40代:37、50代:63、60代以上:7

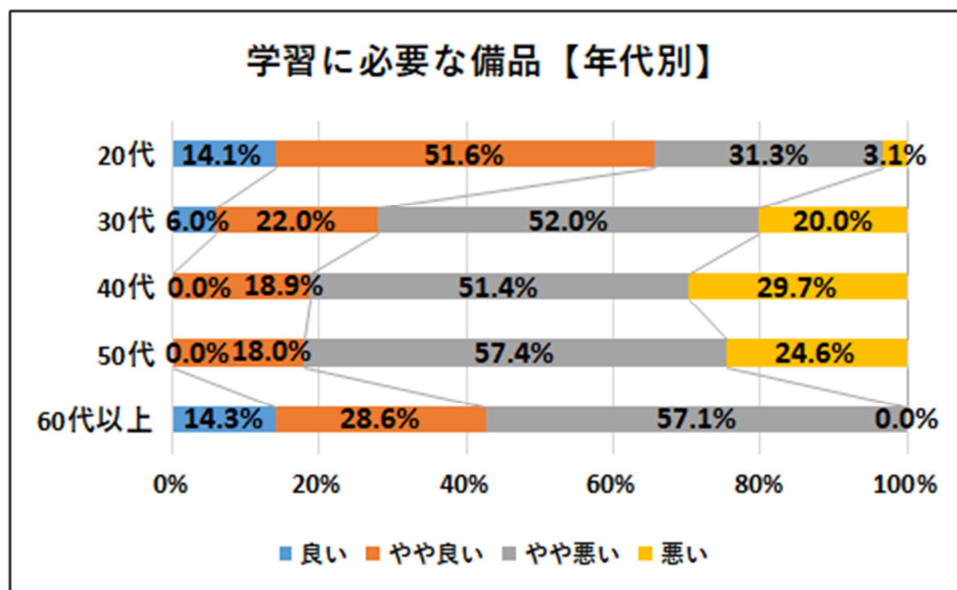
#### ④学習に必要な黒板や掲示板、教壇、その他備品等の設備状況

学習に必要な黒板や掲示板、教壇、その他備品等の設備状況について、「良い」「やや良い」が35%、「やや悪い」「悪い」が65%となっており、「やや悪い」「悪い」と感じている方が、6割を超えている。



(サンプル数)220

学習に必要な黒板や掲示板、教壇、その他備品等の設備状況を年代別にみると、20代では、「良い」「やや良い」が65.7%と6割を超えているが、その他の年代では、「やや悪い」「悪い」が5割を超え、40代と50代では8割を超えている。

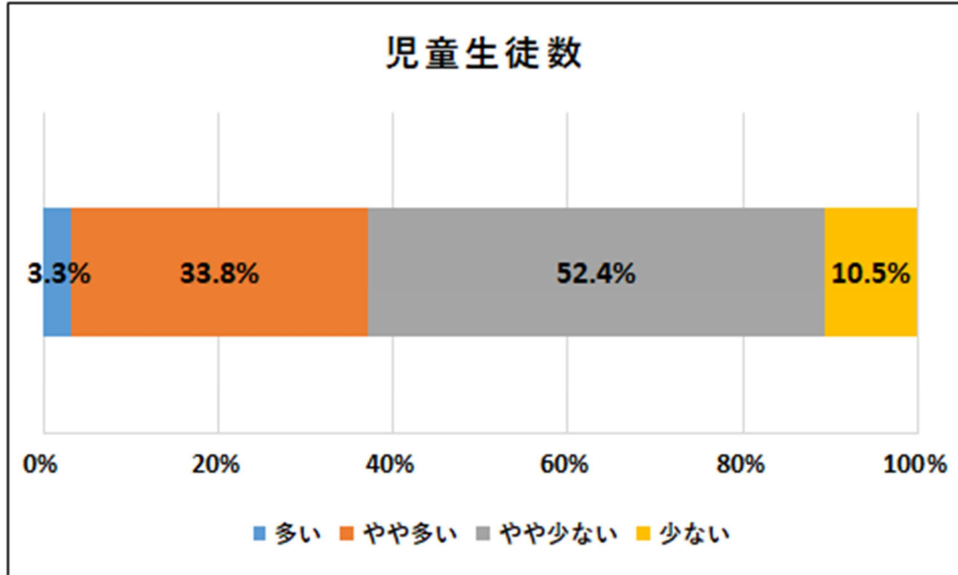


(サンプル数)20代:64、30代:50、40代:37、50代:61、60代以上:7

#### (4) 学校の児童生徒数や学級数の状況について

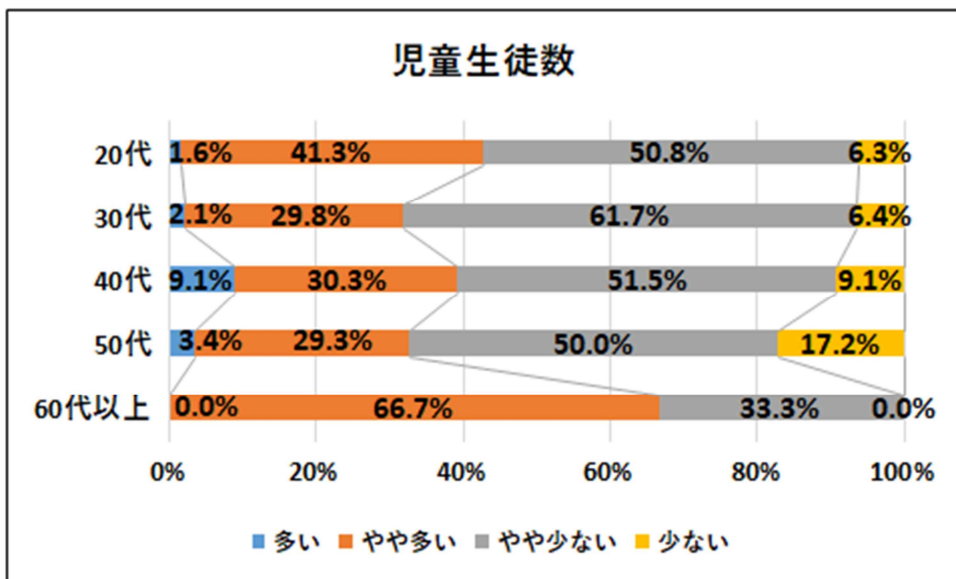
##### ①学校行事などの教育活動を行う上での児童生徒数

学校行事などの教育活動を行う上での児童生徒数については、「多い」「やや多い」が37.1%、「やや少ない」「少ない」が62.9%となっており、「やや少ない」「少ない」と感じている方が、6割を超えている。



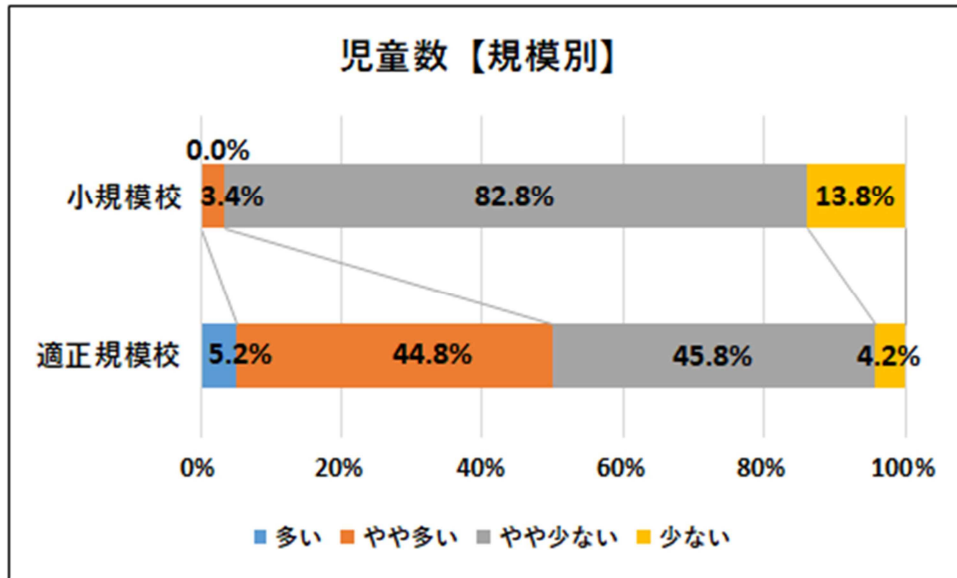
(サンプル数)210

学校行事などの教育活動を行う上での児童生徒数について年代別でみると、60代以上は「多い」「やや多い」が66.7%と6割を超えているが、20代では、「やや少ない」「少ない」が5割を超え、30代、40代、50代では6割を超えている。



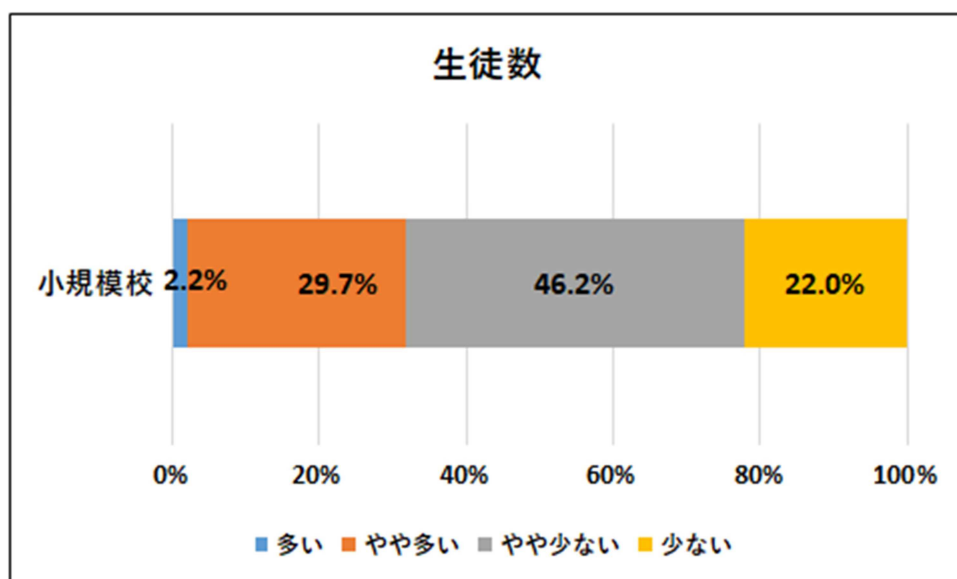
(サンプル数)20代:63、30代:47、40代:33、50代:58、60代以上:6

学校行事などの教育活動を行う上での児童数を規模別にみると、小規模校は、「やや少ない」「少ない」が96.6%と9割を超えているが、適正規模校は「多い」「やや多い」と「やや少ない」「少ない」がそれぞれ50%となっている。



(サンプル数)小規模校:29、適正規模校:96

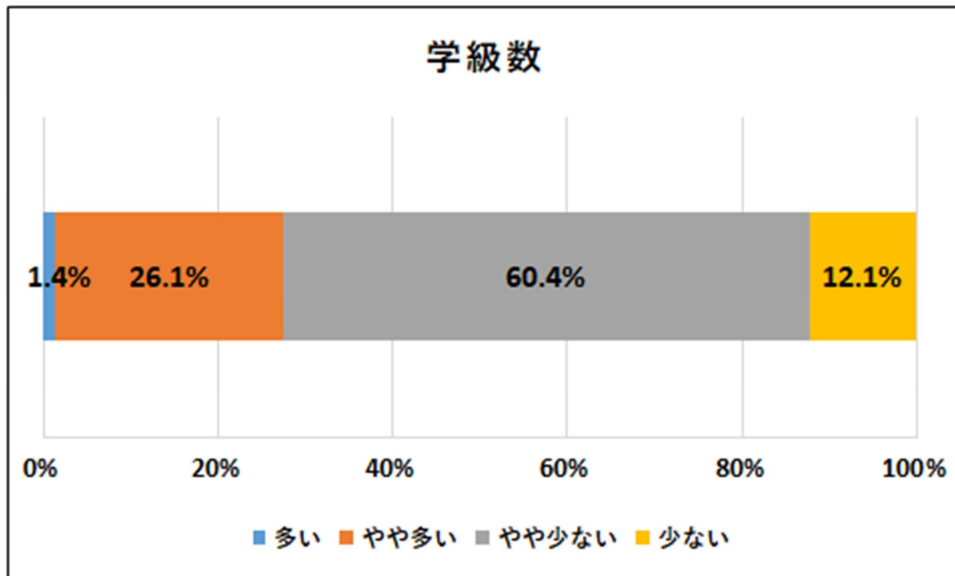
学校行事などの教育活動を行う上での生徒数は、「やや少ない」「少ない」が、68.2%と6割を超えている。



(サンプル数)小規模校:91

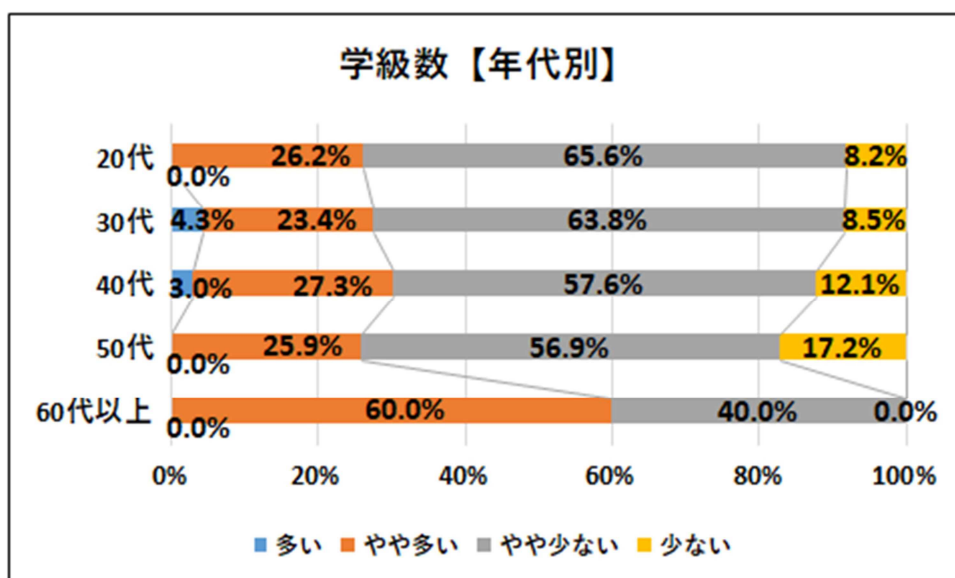
## ②学校行事などの教育活動を行う上での学級数

学校行事などの教育活動を行う上での学級数については、「多い」「やや多い」が27.5%、「やや少ない」「少ない」が72.5%となっており、「やや少ない」「少ない」と感じている方が、7割を超えている。



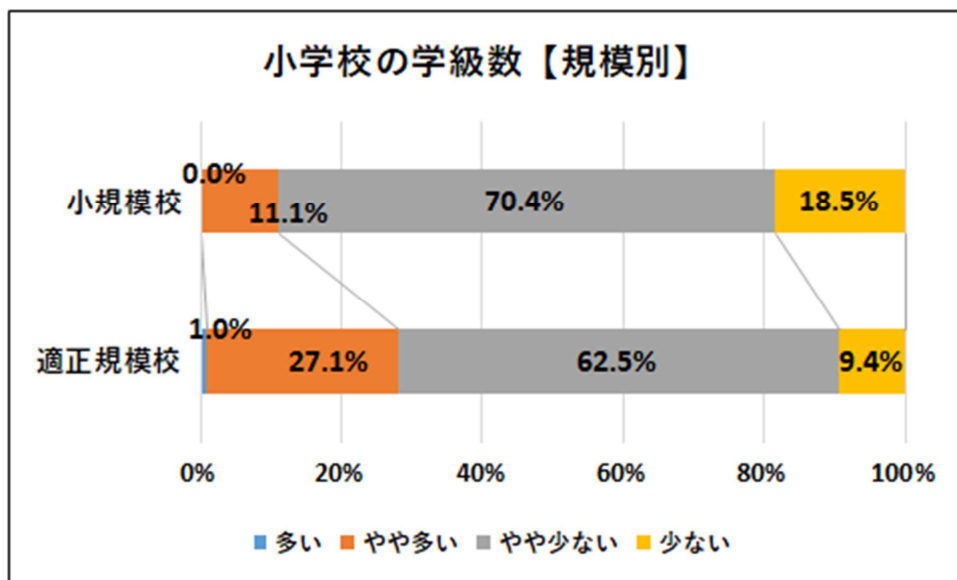
(サンプル数)207

学校行事などの教育活動を行う上での学級数を年代別でみると、60代以上は「やや多い」が6割を超えているが、その他の年代では、「やや少ない」「少ない」が約7割となっている。



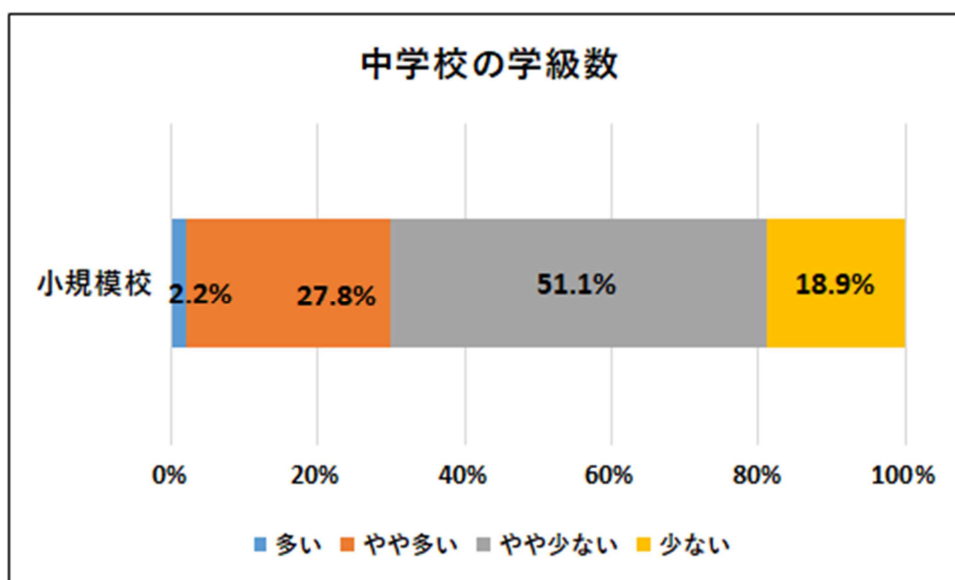
(サンプル数)20代:61、30代:47、40代:33、50代:58、60代以上:5

学校行事などの教育活動を行う上での小学校の学級数を規模別で見ると、「やや少ない」「少ない」が小規模校では88.9%、適正規模校では71.9%となっている。



(サンプル数)小規模校:27、適正規模校 96:

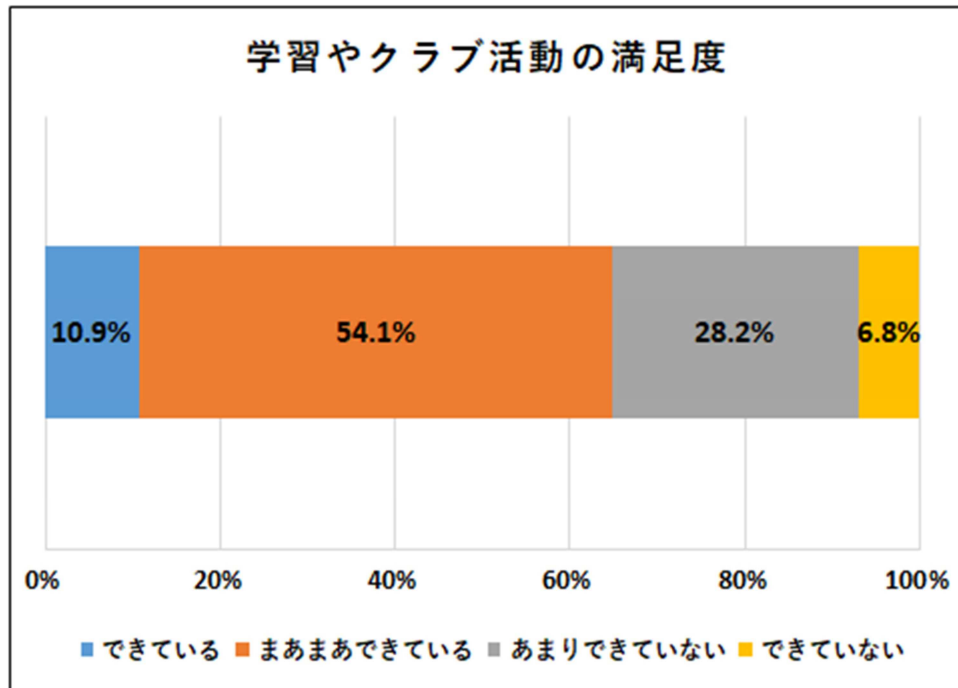
学校行事などの教育活動を行う上での中学校の学級数は、「やや少ない」「少ない」が70%となっている。



(サンプル数)小規模校:90

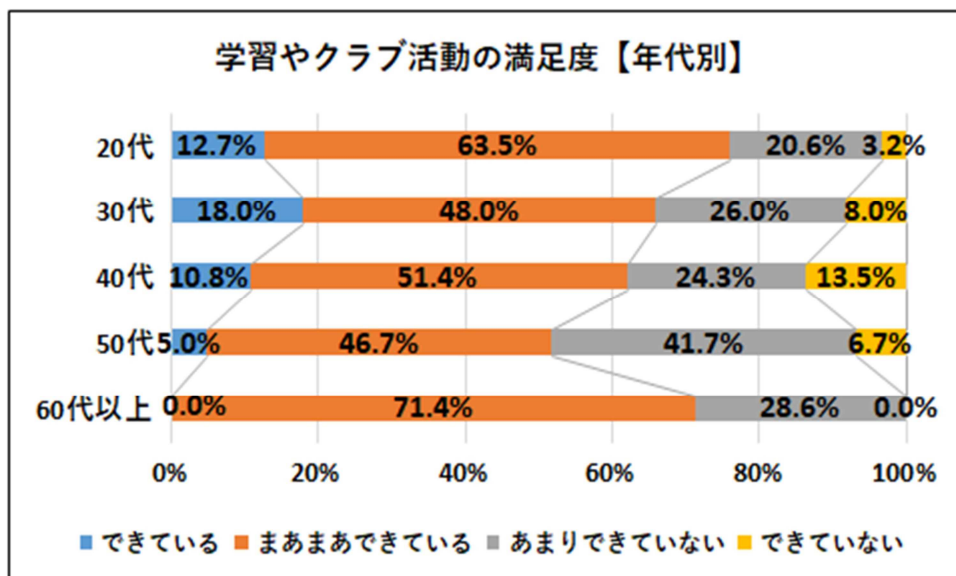
### ③教室での学習やクラブ活動など、今の児童生徒数での満足度

教室での学習やクラブ活動などが、今の児童生徒数で充分実施できているかどうかについて、「できている」「まあまあできている」が65%、「あまりできていない」「できていない」が35%となっている。



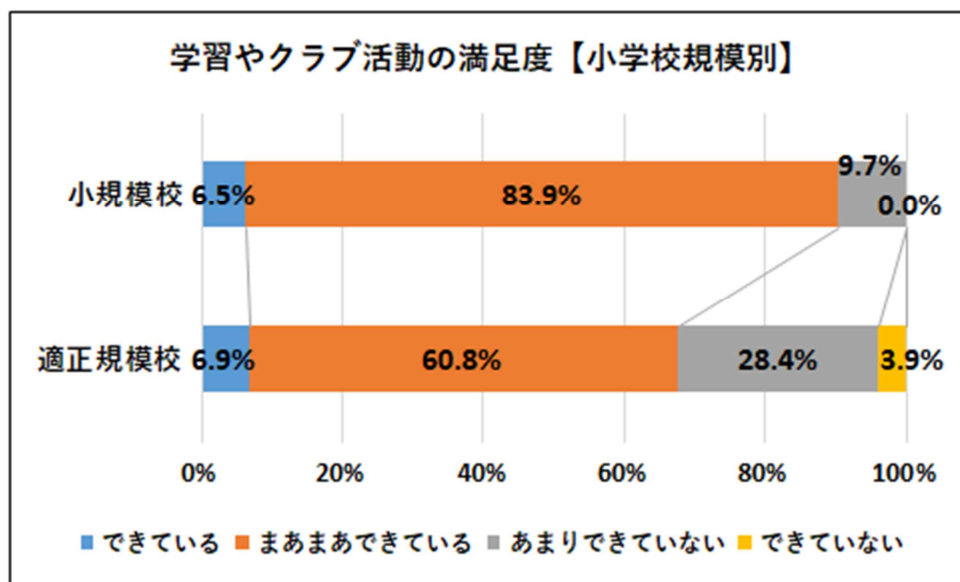
(サンプル数)220

教室での学習やクラブ活動などが今の児童生徒数で充分実施できているかどうかについて、年代別でみると、すべての年代で「できている」「まあまあできている」が、5割を超え、20代と60代以上では、7割を超えている。



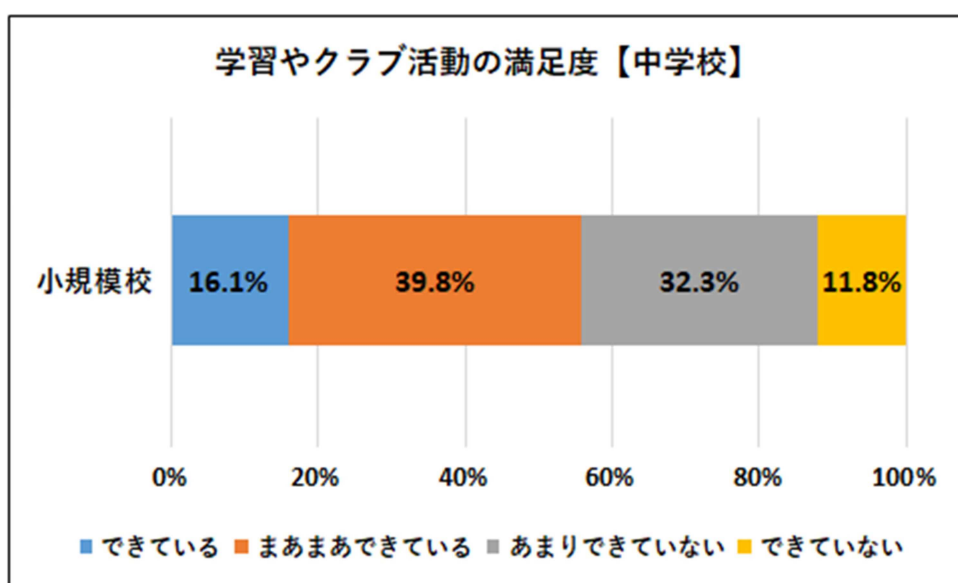
(サンプル数)20代:63、30代:50、40代:37、50代:60、60代以上:7

教室での学習やクラブ活動などが今の児童生徒数で充分実施できているかどうかについて、小学校の規模別でみると、「できている」「まあまあできている」が小規模校では90.4%、適正規模校では67.7%となっている。



(サンプル数)小規模校:31、適正規模校 102:

教室での学習やクラブ活動などが今の児童生徒数で充分実施できているかどうかについて、中学校では、「できている」「まあまあできている」が55.9%と5割を超えている。

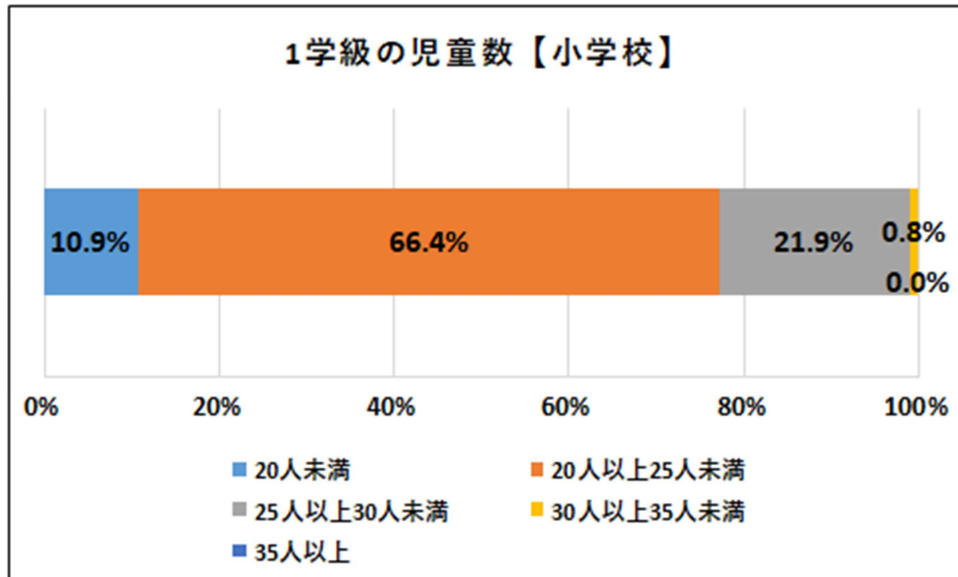


(サンプル数)小規模校:93



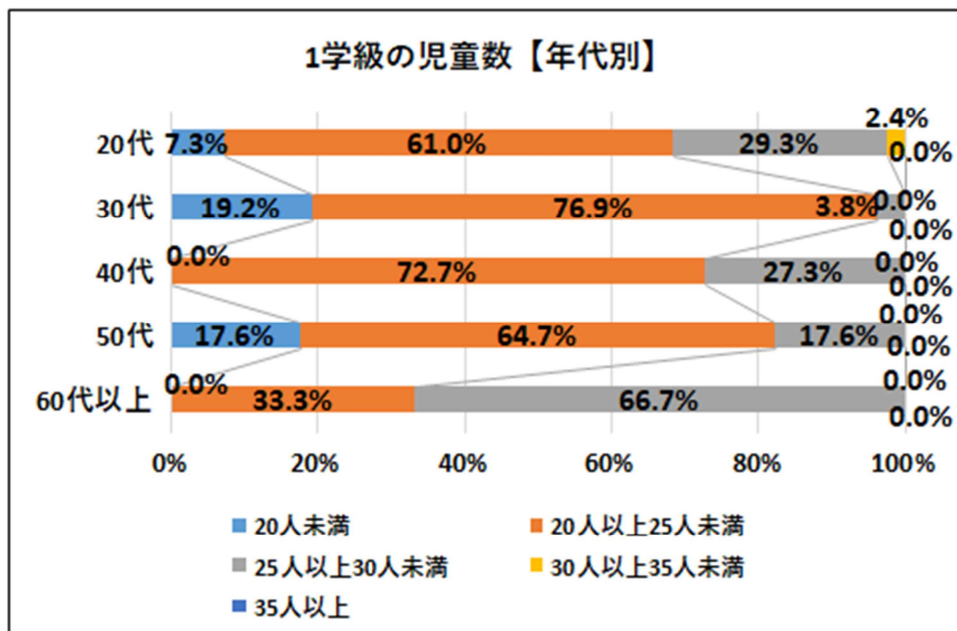
④授業や学校行事、学校経営（学級経営）等を考慮した場合の1学級の児童生徒数

授業や学校行事、学校経営(学級経営)等を考慮した場合の望ましい1学級の児童数について、小学校では「20人以上25人未満」が66.4%と最も割合が高くなっている。



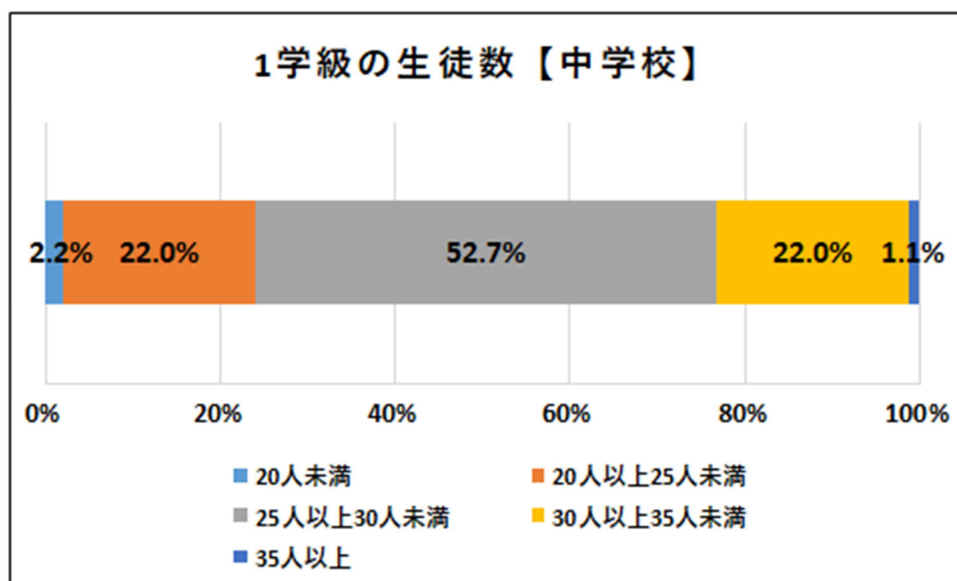
(サンプル数)128

授業や学校行事、学校経営(学級経営)等を考慮した場合の望ましい小学校1学級の児童数について年代別でみると、20代、30代、40代、50代では、「20人以上25人未満」が6割から7割となっているが、60代以上では「25人から30人未満」が66.7%と最も割合が高くなっている。



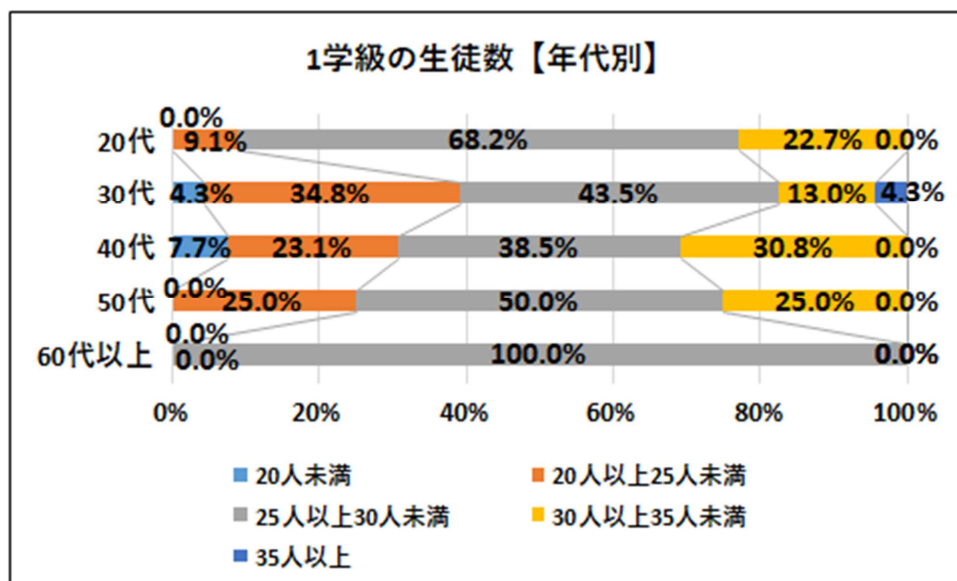
(サンプル数)20代:41、30代:26、40代:22、50代:34、60代以上:3

授業や学校行事、学校経営(学級経営)等を考慮した場合の望ましい1学級の生徒数について、中学校では、「25人以上30人未満」が52.7%と最も割合が高くなっている。



(サンプル数)91

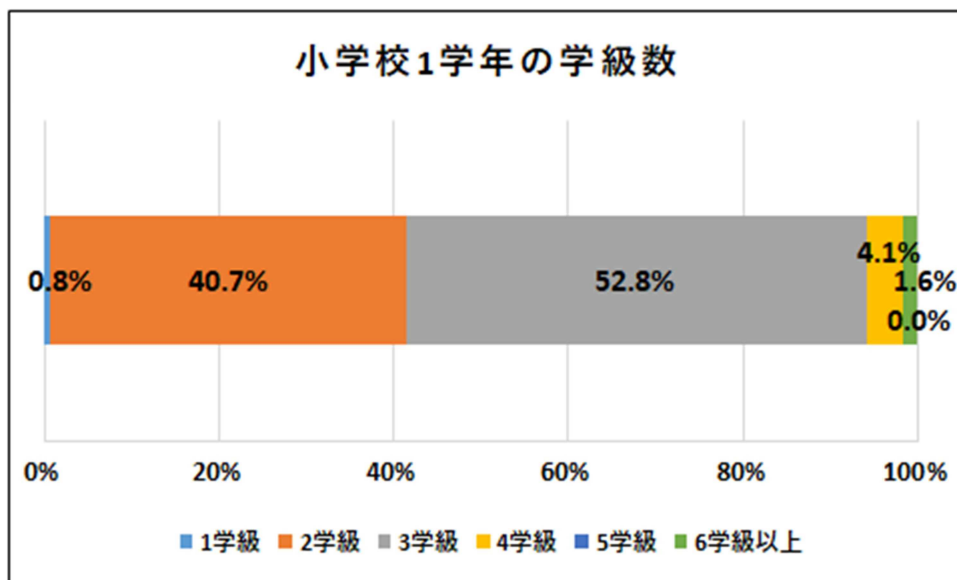
授業や学校行事、学校経営(学級経営)等を考慮した場合の望ましい中学校1学級の生徒数について年代別でみると、すべての年代で「25人以上30人未満」の割合が最も高くなっているが、20代では68.2%、50代では50%、60代以上では100%となっている。



(サンプル数)20代:22、30代:23、40代:13、50代:28、60代以上:4

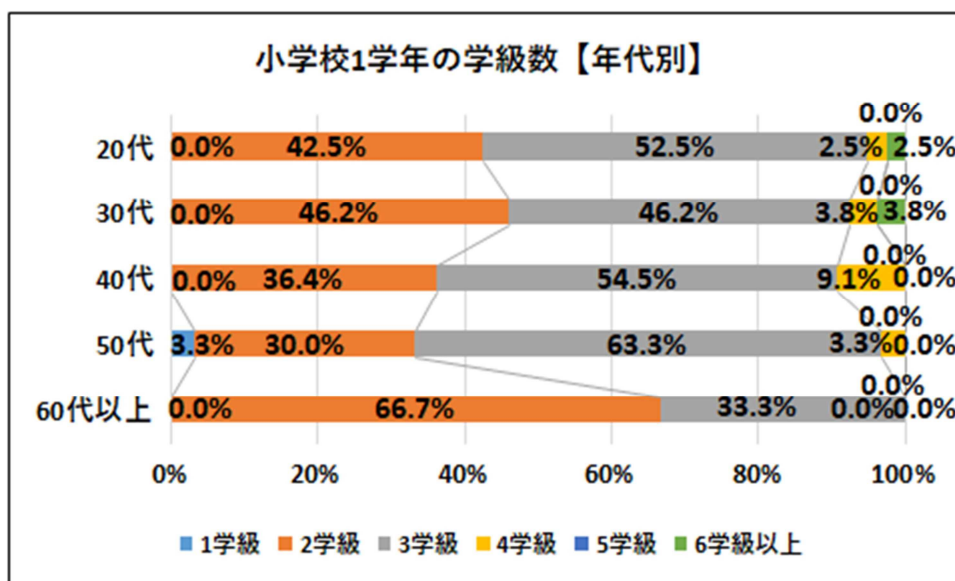
⑤授業や学校行事、学校経営（学年経営）等を考慮した場合の1学年の学級数

授業や学校行事、学校経営(学年経営)等を考慮した場合の望ましい1学年の学級数について、小学校では「3学級」が52.8%と最も割合が高く、続いて「2学級」が40.7%となっている。



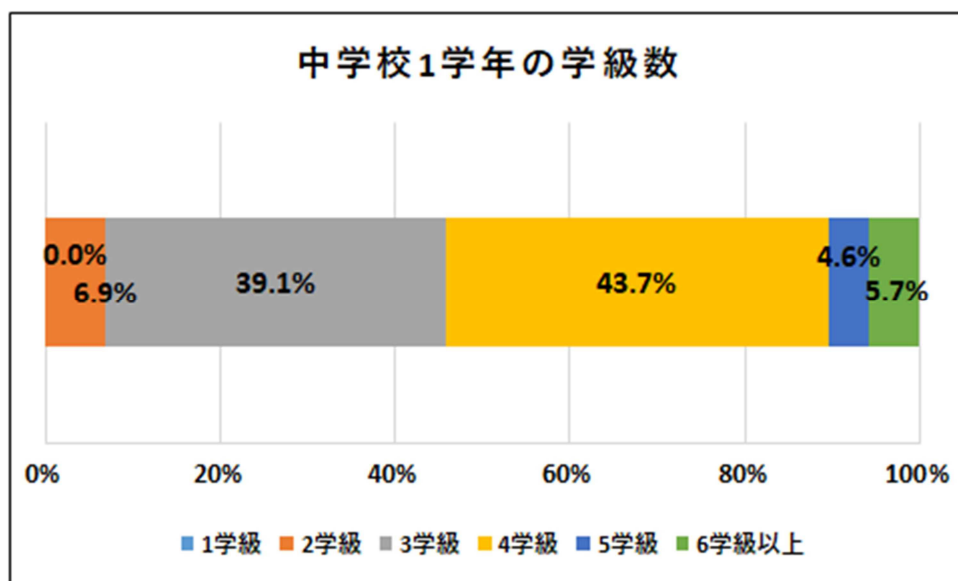
(サンプル数)123

授業や学校行事、学校経営(学年経営)等を考慮した場合の望ましい1学年の学級数について、年代別でみると、「3学級」の割合が20代は52.5%、40代は54.5%、50代は63.3%と最も高く、60代では「2学級」の割合が66.7%と最も高くなっている。30代は「2学級」と「3学級」の割合がそれぞれ46.2%となっている。



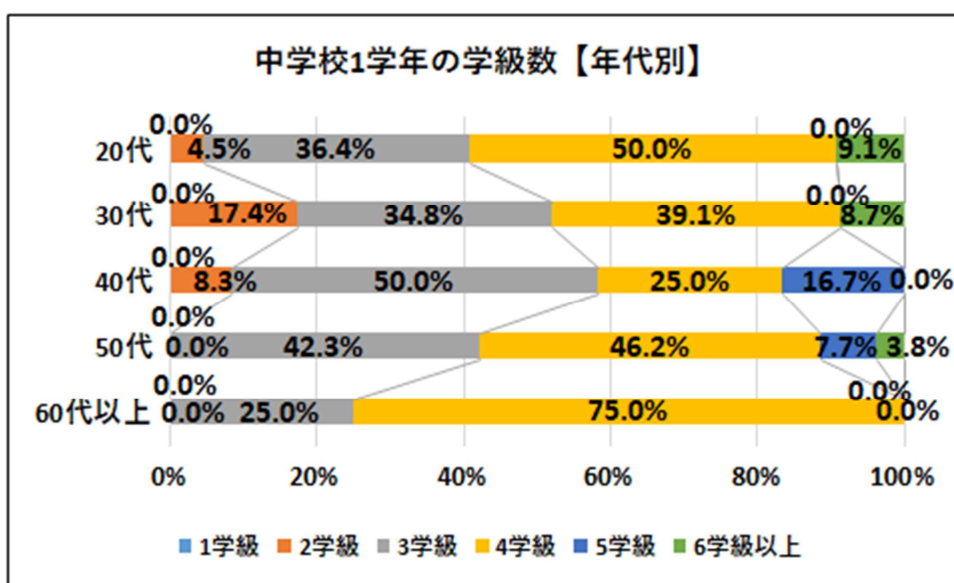
(サンプル数)20代:40、30代:26、40代:22、50代:30、60代以上:3

授業や学校行事、学校経営(学年経営)等を考慮した場合の望ましい1学年の学級数について、中学校では、「4学級」が43.7%と最も割合が高く、続いて「3学級」が39.1%となっている。



(サンプル数)87

授業や学校行事、学校経営(学年経営)等を考慮した場合の望ましい1学年の学級数について、年代別でみると、「4学級」の割合が、20代は50.0%、30代は39.1%、50代は46.2%、60代以上は75.0%と最も高く、40代は「3学級」の割合が50.0%と最も高くなっている。



(サンプル数)20代:22、30代:23、40代:12、50代:26、60代以上:4

(5) 施設設備面、児童生徒数における課題や問題点、改善点（自由記述）

小 学 校	
施設設備面 (校舎等)	<p>校舎等設備の老朽化。(7)            教室が狭い、広くしてほしい。(2)            職員室が人数のわりに狭い。            ランドセル等の棚が狭く、改善してほしい。(11)            校舎が暗い。(2)            特別教室の設備が不十分。エアコンを入れてほしい。(2)            トイレの数が少ないや全面様式化など(4)            手洗い場の改善(2)            雨漏りの改善(3)            床材の破損。            壁や天井を直してほしい。            教室のドアの改善。            ドアの建付けが悪い。            戸、窓の木枠が劣化している。            教室にベランダをつけてほしい。            児童昇降口くつ置き場の老朽化。            施錠設備、換気能力の向上            電気系統の老朽化。            すべての教室WiFi環境がほしい。            施設をもう少し快適に使用したい。            補修が追い付いていない。</p>
施設設備面 (体育館等)	<p>体育館の床が歪んでいる。            運動場の柵の高さを上げると、利用方法の幅が増える。            運動場のブランコの周りに柵があると安心できる。            遊具の質や数が少な過ぎる。            プールも古く衛生的に気になる。</p>
施設設備面 (備品等)	<p>1年生の身体と机が合っていない。            電子黒板の導入や黒板の改善。(4)            カーテンが劣化している。            大画面テレビの全クラス等への設置。(2)            教材、教具等の備品の充実。(4)            放送室のCD機器がCDを読み込めない。</p>
施設設備面 (その他)	<p>安全点検の実施や定期的な点検の実施。(2)            感染対策がスムーズにできる設備の充実が必要。            施設、設備面の環境が整った状態で教育や指導がしたい。            現在求められる教育活動では、施設設備が対応できていない。            30人を超えると教室の棚がいっぱいになり、教室だけでは物が管理できない。学年に1室空き教室がほしい。            社会体育が全体的に設備を丁寧に使っていない。</p>
児童生徒数・学級数	<p>1学級の人数を減らすと、一人一人に手厚くできる。            低学年の児童数は20人前後が指導や生活面での対応が十分にできる。            学級は30人がよい。            1学級は30人までとし、きめ細やかな指導につなげられるようにしてほしい。            学級の児童数は30人未満が望ましい。            40人近くなっているクラスでは、教室が狭く、人数が多すぎる。            児童数を35人未満にできるようにしてほしい。            1学級の人数が多い。3・4年生は35人以上の児童が在籍しており、教育活動を行う際の課題である。            学力保障、安全面を考えたとき、今のスペースに40人分の机や椅子を配置するのは難しく、人数を改善してほしい。            学級数を増やし、35人以下してほしい。            1学級20人から25人が指導上望ましい。            1学級の人数が多いと学力面・生活面で見逃してしまいうことがある。            1学年2から3学級の規模がコンパクトで動きやすいが、施設を充実させるためにも適正な学級数学校数を考えていく必要がある。            単学級や2学級は、1人あたりの教師の負担が大きい。クラス替えに変化がなく、中高と多様な人と触れ合う準備が必要ではないか。            学級数を増やすと担任外教員が少なくなり、補欠授業等の学校経営に支障がある。            児童生徒のトラブルや不登校をなくしたい。            教室に行けない子どもの学習場所の確保。</p>
その他	<p>統合型校務支援システムの導入してほしい。            パソコンが古く、動作が遅いので、改善してほしい。(8)            タブレットもどのくらいアプリを入れいいかわからない。            カラーコピーを使用したい。(3)            拡大コピーの印刷状況がよくない。            教室と職員室のプリンターをつないでほしい。            ICT担当教員の配置。(2)            支援学級の児童数に応じた支援員の配置            若い先生、臨時免許の先生が多く、長年の経験のある先生が少ない。教育の質が心配。            個性と協調性の両立ができる環境を学校にこだわらず、公が果たす役割が大きくなっている。</p>

※( )は件数。

中 学 校	
施設設備面 (校舎等)	<p>校舎等設備の老朽化。(7) 窓やドアの建付けが悪く、開閉ができない。(5) 教室や廊下の窓の開け閉めがしにくい。落下の危険性がある。(10) 教室や職員室、窓の施錠の改善。(3) 教室等の雨漏りの改善。(10) 教室の棚が狭い。 生徒用ロッカーの確保 廊下の床の剥がれ。 棚がつぎはぎで狭い。 壁がフヨフヨしている。 校舎、トイレも天井もカビだらけ。 水道設備の改善。(3) 電気設備の改善。(2) 理科室にエアコンがあるが、毎時使う美術室にないのか。 机や椅子が古く、1年生では新しいものがほしい。 学習環境、労働環境から校舎の建替えや改築をすぐにやるべき。 照明が暗いので、新築した方がよい。 施設設備面の充実より補充、修理等に補助してほしい。 今後、施設設備の老朽化の課題が対応できなくなると思う。</p>
施設設備面 (等体育館)	<p>体育館が狭い。(2) 体育館の床や倉庫が古く、危険。(3) グラウンドがデコボコしている。 プールが使用できない。(4) 武道場の雨漏り。(2) 運動場に砂を入れてほしい。</p>
施設設備面 (備品等)	<p>背面黒板が磁石でなく使いづらい。(2) 部活で使用する道具や倉庫が破損している。 美術室にテレビがほしい。 楽器や施設の老朽化を改善してほしい。 各教科で最低限必要なものを学校統一して揃えておくことが大切。デジタル教科書、教材DVDなどもう少し市全体で揃えてほしい。</p>
他(その備設)	<p>草や植物の生える面積が広く、落葉の時期は困る。 職員室の廊下がすりガラスのため、会話が外に聞こえる。改善してほしい。 施設や備品の故障や不具合を最優先に改善してほしい。 校舎内外、運動場を含めて定期的な改修が行われていない。</p>
児童生徒数・学級数	<p>学力面、人間関係面からも1学級の生徒数を少なくし、学級数を増やすべき。 2クラスだけだとさみしい。 中学校で新しい人間関係を築くことができず、切磋琢磨することができない。 生徒数が少なくクラス編成が困る。 人間関係の広がりや競い合いのなさ、学校行事や部活動の活性化等、もっと大きな集団の方がメリットがある。 部活動が活動に必要な人数が足りない。学習面もライバルがいた方がよい。多様性の環境にない。 1学級の人数は30人前後がよい。1学年の学級数は5学級が望ましい。各学年に教科担任が1名ずつ入ってほしい。 学級数は大きすぎても小さすぎてもやりにくい。3から4学級がちょうどよい。1クラスの人数は30人以下がよい。 教室の広さを考えると学級の生徒数は36人以下にしてほしい。 3年生は3学級で1学級38から39名なので、4学級にしてほしい。 生徒数は少人数やよい。3年生が40人クラスになると教室がいっぱいになる。 個別の指導や生徒個人に対応した教育の充実をさせるなら、教師1人あたりが受け持つ生徒数は少なくするべき。学級数を増やすことや生徒数を減らすより教員を増やす方よい。 生徒数ではなく、教員数が足りない。個に応じた指導や安心できる環境のため教員が必要。 特別支援学級の学級数の見直しと教員の配置。 支援を必要とする生徒が非常に多く、子ども課題は親の課題でもあり、家庭教育と学校教育がつながることが大切。 生徒人数は、授業、学校行事、学校経営、クラブ活動と同じ様に比較するのは難しい。 住宅環境の整備や誘致により、現状以上の生徒数になる。1校にすることもできるが、交通の便や土地等のことを考えると2校が妥当。 年々生徒数が減少し、学校再編が必要。</p>
その他	<p>ネットワーク環境が悪い。(5) パソコンが動作しない。(2) 部活動での個人負担。 30人前後の職員室にプリンターが1つは少ない。</p>

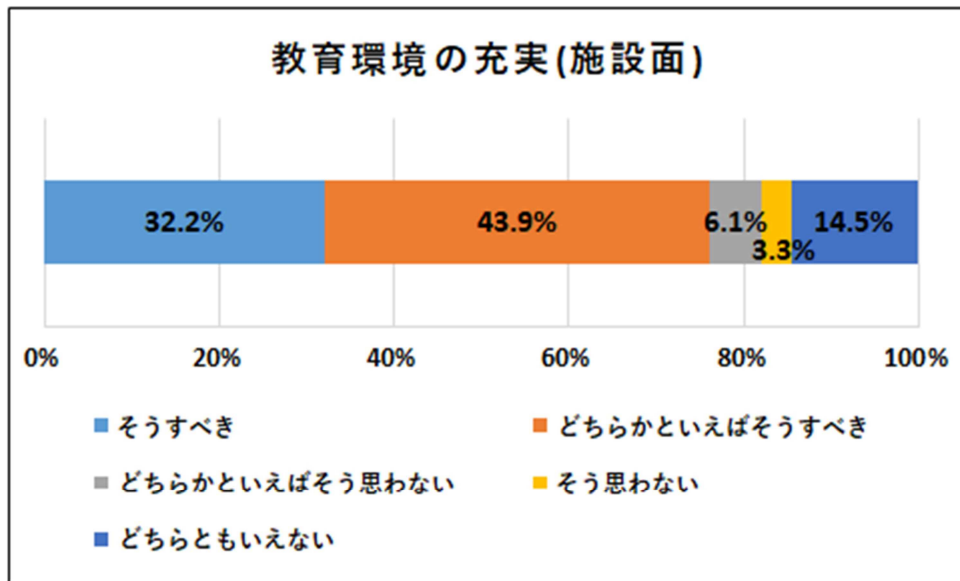
※( )は件数。

## 2 中間市の将来の学校のあり方について

### (1) 中間市の将来の学校のあり方

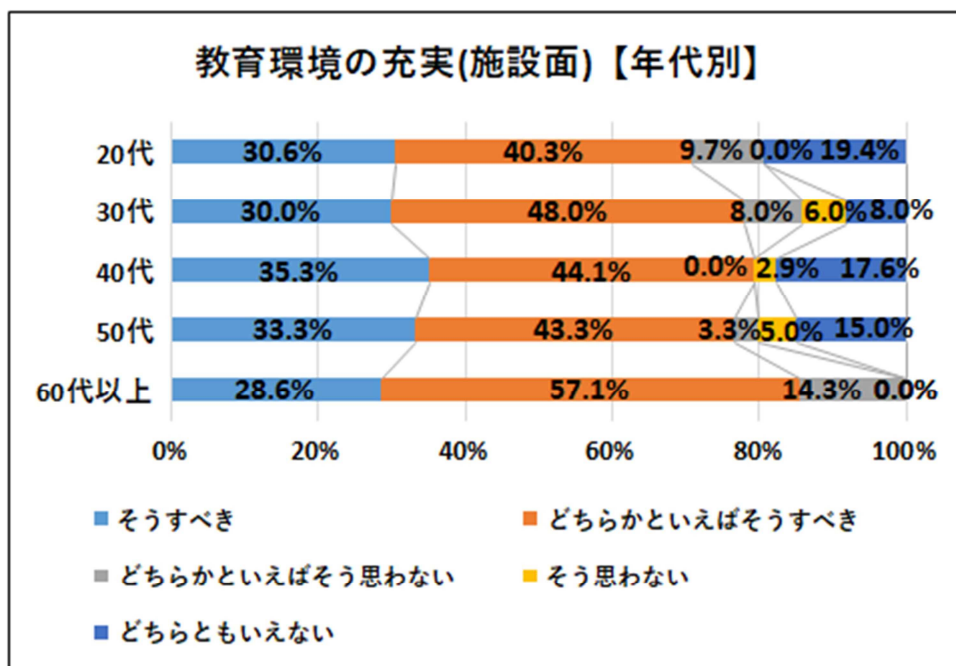
#### ①教育環境(施設面)の充実

現在の小学校6校、中学校4校の将来のあり方について、施設の老朽化、少子化、ICTを含む学習環境の変化、新型コロナウイルス感染症などの新しい課題に対応するため、学校を再編し、適正な位置に適正な規模の学校を新設もしくは改築等して、子どもたちの教育環境（施設面）を充実させることについて、「そうすべき」「どちらかといえばそうすべき」が、76.1%で7割を超えている。



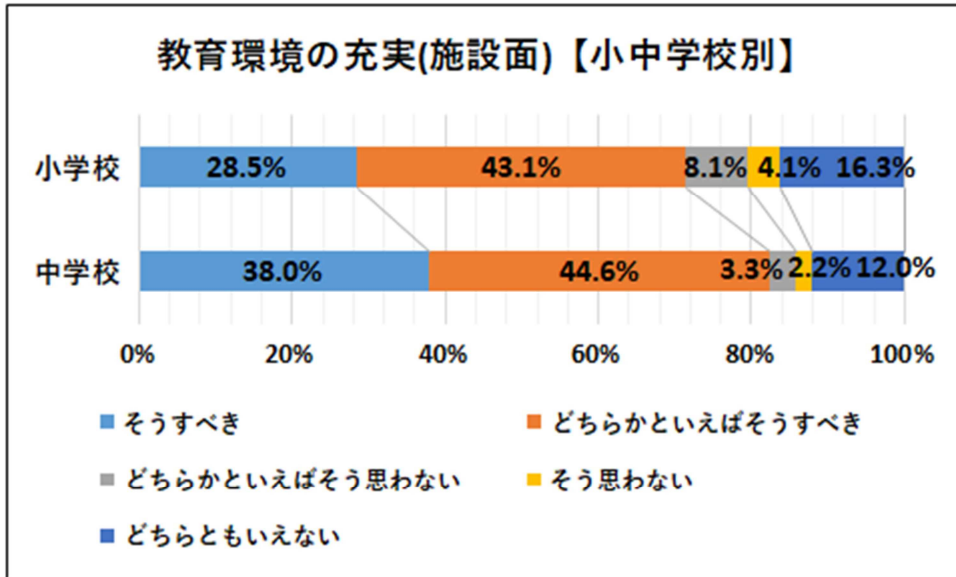
(サンプル数)214

教育環境の充実(施設面)について年代別でみると、「そうすべき」「どちらかといえばそうすべき」が、すべての年代で7割を超えており、60代以上では8割を超えている。



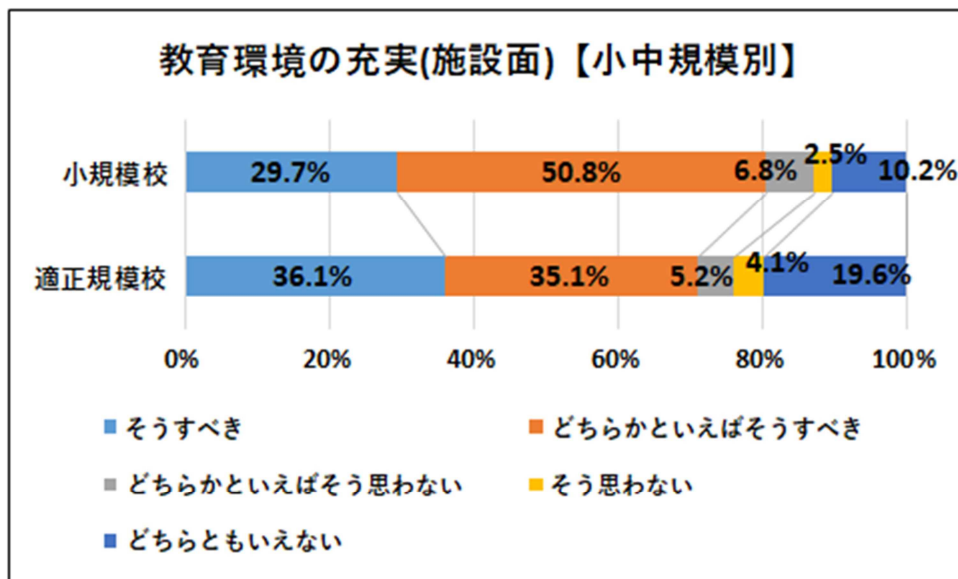
(サンプル数)20代:62、30代:50、40代:34、50代:60、60代以上:7

教育環境の充実(施設面)について小中学校別にみると、「そうすべき」「どちらかといえばそうすべき」が、小学校では71.6%、中学校では82.6%となっている。



(サンプル数)小学校:123、中学校:92

教育環境の充実(施設面)について、小中学校の規模別でみると、「そうすべき」「どちらかといえばそうすべき」が、小規模校では80.5%、適正規模校では71.2%になっている。

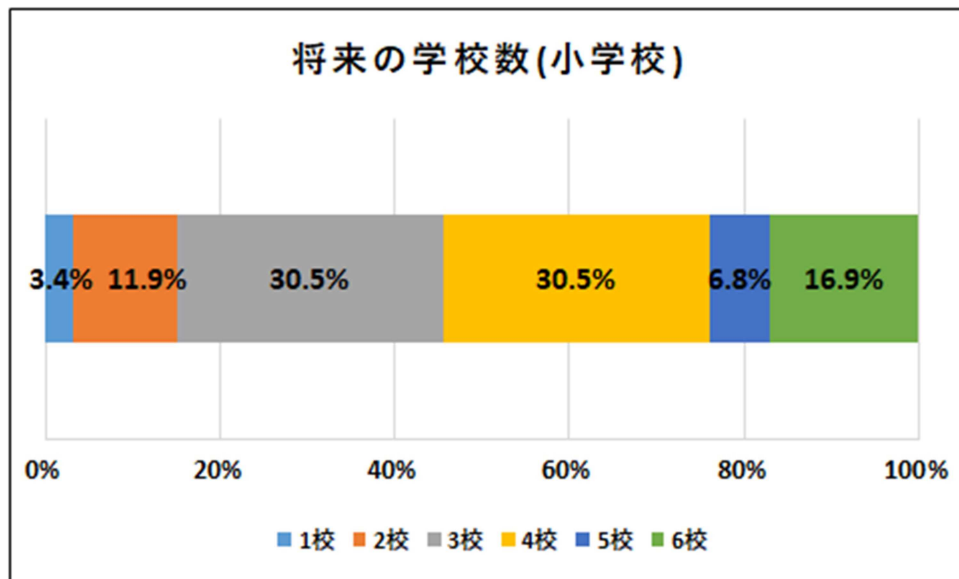


(サンプル数)小規模校:118、適正規模校:97



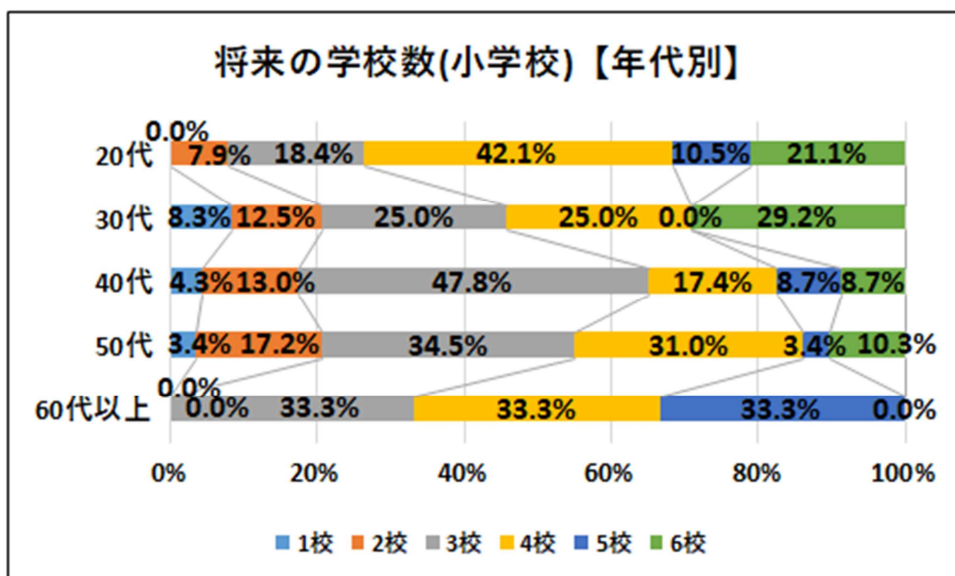
## ②将来の小学校、中学校の学校数・学級数

今後の少子化を見据えた将来の学校数については、小学校では「3校」と「4校」が30.5%と割合が高くなっている。



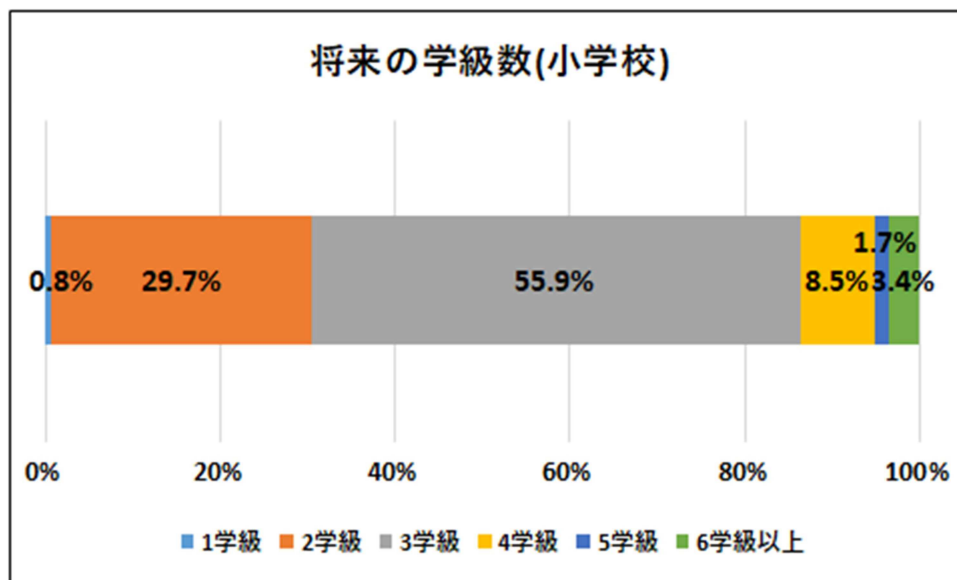
(サンプル数)118

今後の少子化を見据えた将来の学校数について年代別でみると、20代は「4校」(42.1%)、30代は「6校」(29.2%)、40代は「3校」(47.8%)、50代は「3校」(34.5%)、60代以上は「3校」「4校」「5校」がそれぞれ33.3%ともっとも割合が高くなっている。



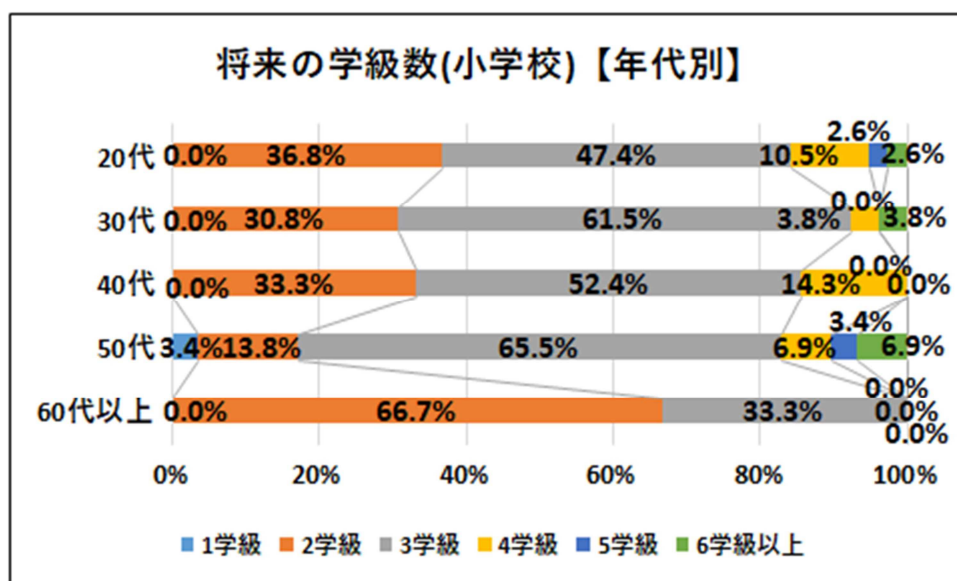
(サンプル数)20代:38、30代:26、40代:21、50代:29、60代以上:3

今後の少子化を見据えた将来の1学年当たりの学級数について、小学校では「3学級」が55.9%と割合がもっとも高く、続いて「2学級」が29.7%となっている。



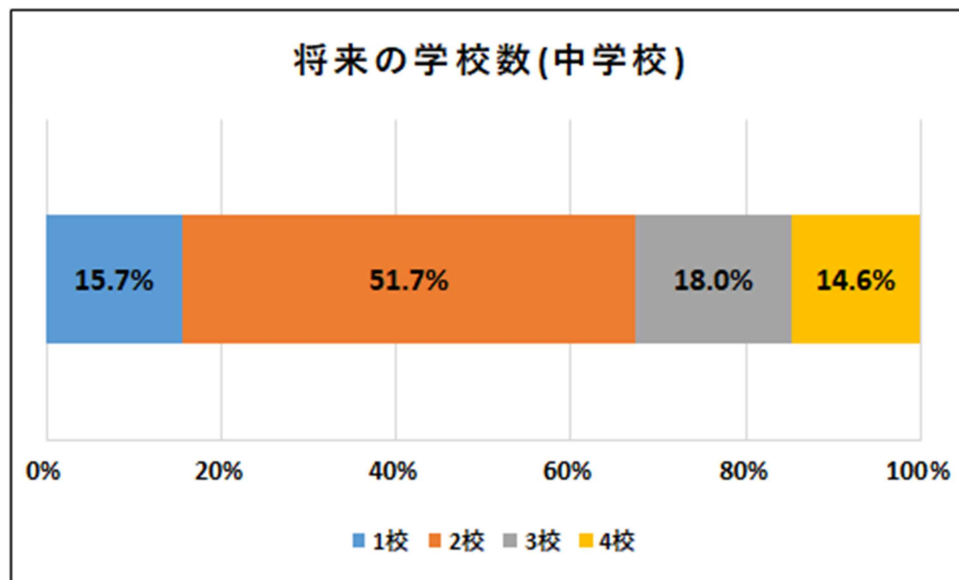
(サンプル数)118

今後の少子化を見据えた将来の学級数について、年代別でみると、「3学級」の割合が、20代は47.4%、30代は61.5%、40代は52.4%、50代は65.5%ともっとも高くなっている。60代以上では、「2学級」の割合が66.7%ともっとも高くなっている。



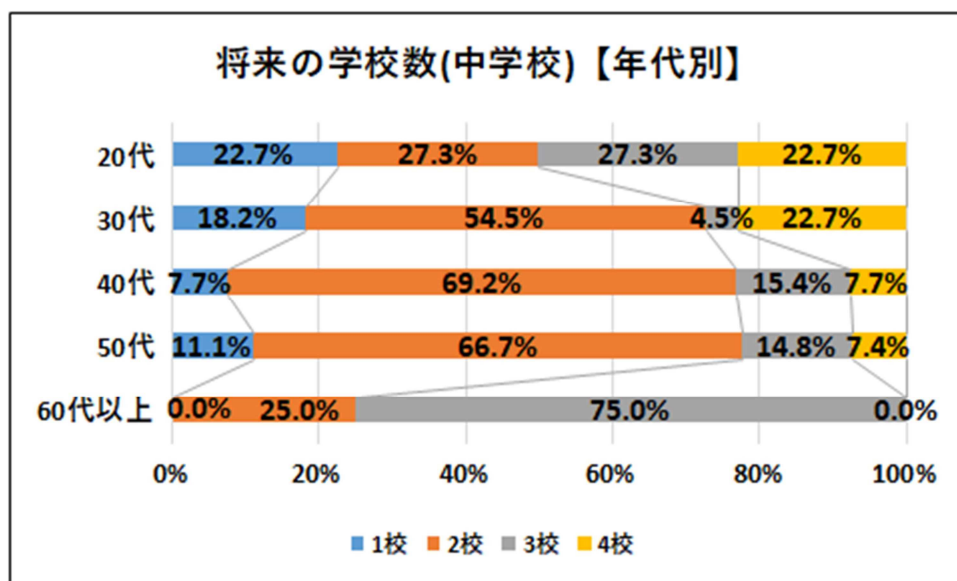
(サンプル数)20代:38、30代:26、40代:21、50代:29、60代以上:3

今後の少子化を見据えた将来の学校数について、中学校では「2校」の割合が51.7%ともっとも高くなっている。



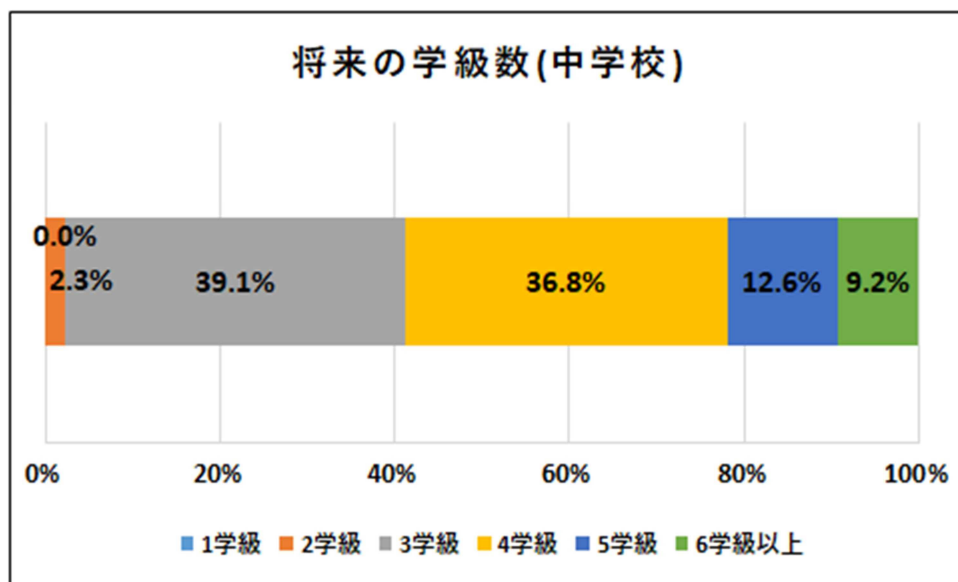
(サンプル数)89

今後の少子化を見据えた将来の学校数について、年代別でみると、「2校」の割合が30代は54.5%、40代は69.2%、50代は66.7%ともっとも高くなっている。20代は「1校」から「4校」ともそれぞれ約2割となっており、60代以上では「3校」の割合が75.0%ともっとも高くなっている。



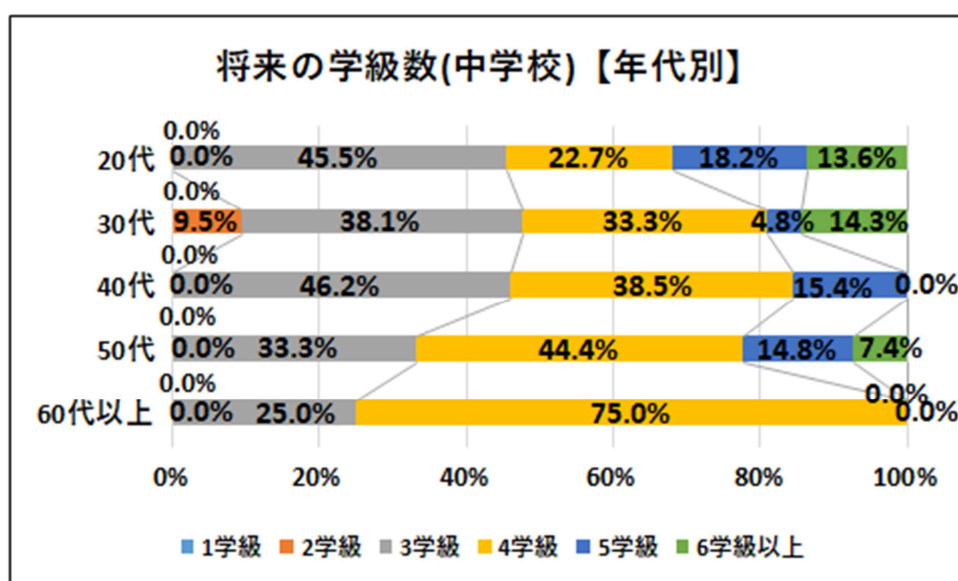
(サンプル数)20代:22、30代:22、40代:13、50代:27、60代以上:4

今後の少子化を見据えた将来の1学年当たりの学級数について、中学校では「3学級」が39.1%と割合がもっとも高くなっており、続いて「4学級」が36.8%となっている。



(サンプル数)87

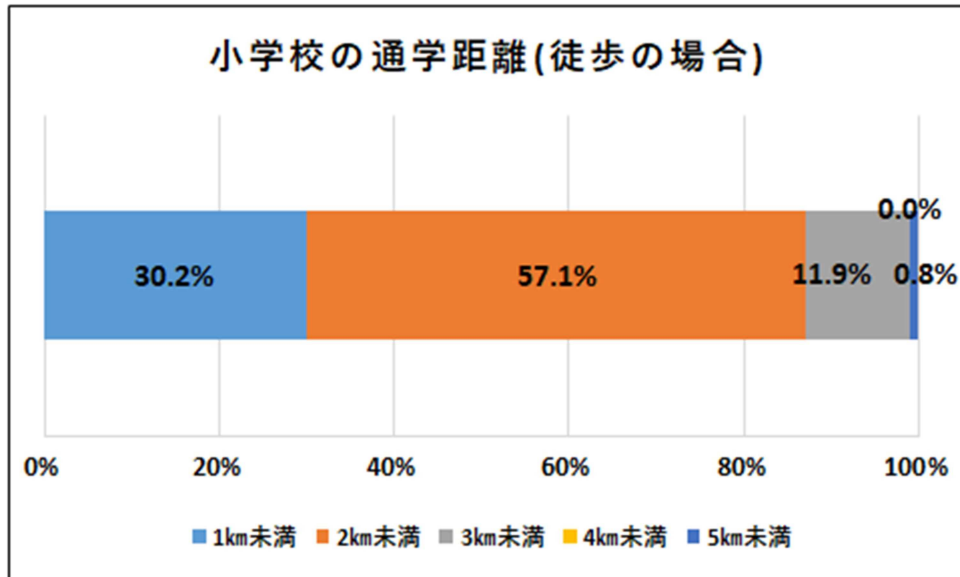
今後の少子化を見据えた将来の学級数について、年代別でみると、20代は45.5%、30代は38.1%、40代は46.2%と「3学級」の割合がもっとも高くなっており、50代は44.4%、60代以上は75%と「4学級」の割合がもっとも高くなっている。



(サンプル数)20代:22、30代:21、40代:13、50代:27、60代以上:4

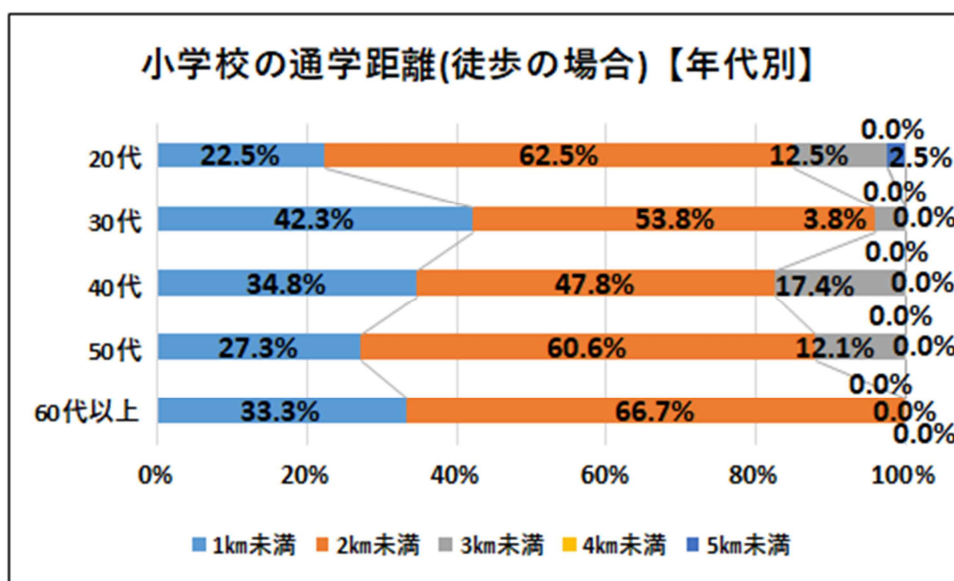
### ③小学校及び中学校の通学方法別の通学距離

小学校の通学方法別の適切だと思う通学距離について、徒歩の場合は、「2 km未満」の割合が57.1%でもっとも高く、続いて、「1 km未満」が30.2%となっている。



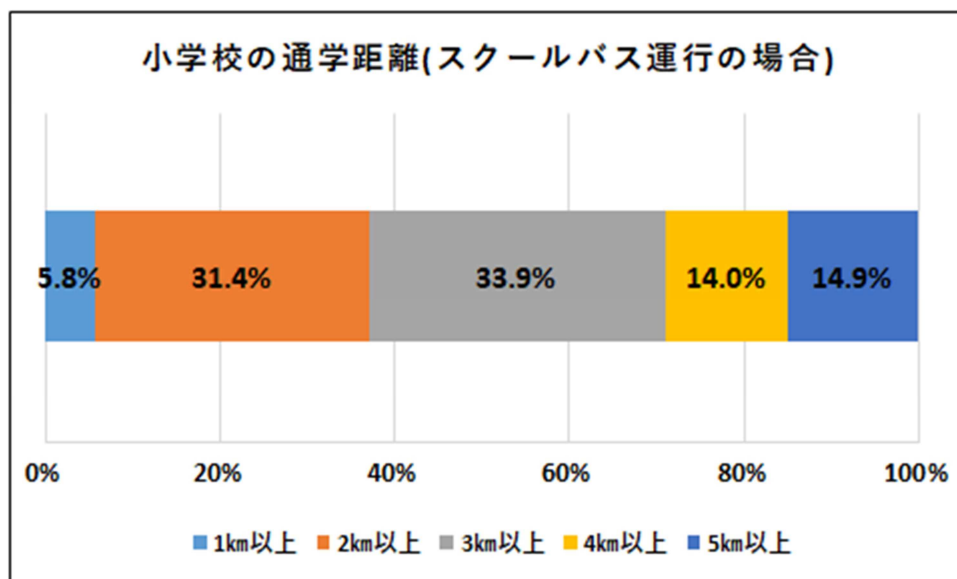
(サンプル数)126

小学校の通学距離(徒歩の場合)を年代別にみると、すべての年代で「2 km未満」の割合が高く、20代、50代、60代では6割を超えている。また、30代では「1 km未満」の割合が42.3%と4割を超えている。



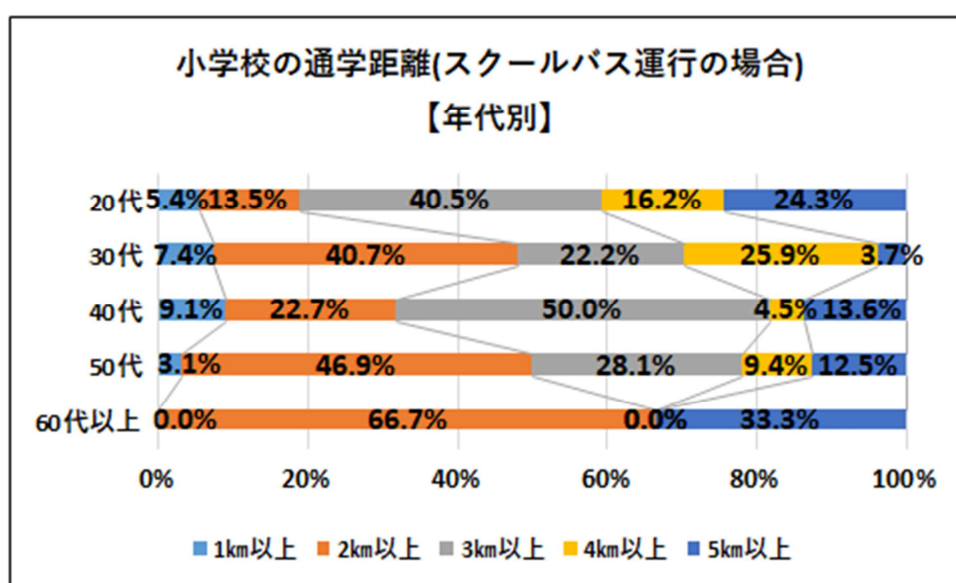
(サンプル数)20代:40、30代:26、40代:23、50代:33、60代以上:3

小学校の通学方法別の適切だと思う通学距離について、スクールバス運行の場合は「3 km以上」の割合が33.9%と最も高く、続いて、「2 km以上」の割合が31.4%となっている。



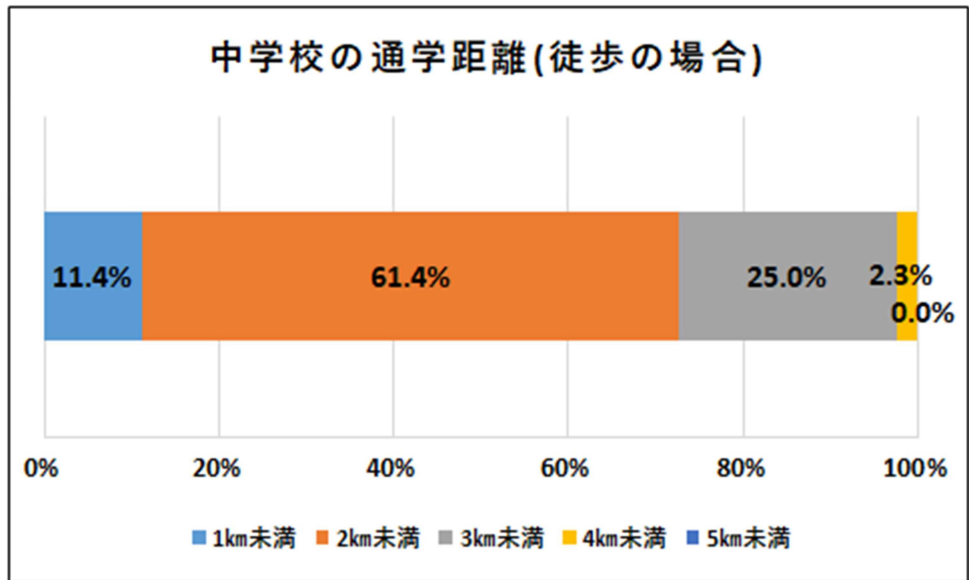
(サンプル数) 121

小学校の通学距離(スクールバス運行の場合)を年代別にみると、「3 km以上」の割合が20代は40.5%、40代は50%と最も割合が高く、「2 km以上」の割合は、30代は40.7%、50代は46.9%、60代以上は66.7%と最も割合が高くなっている。



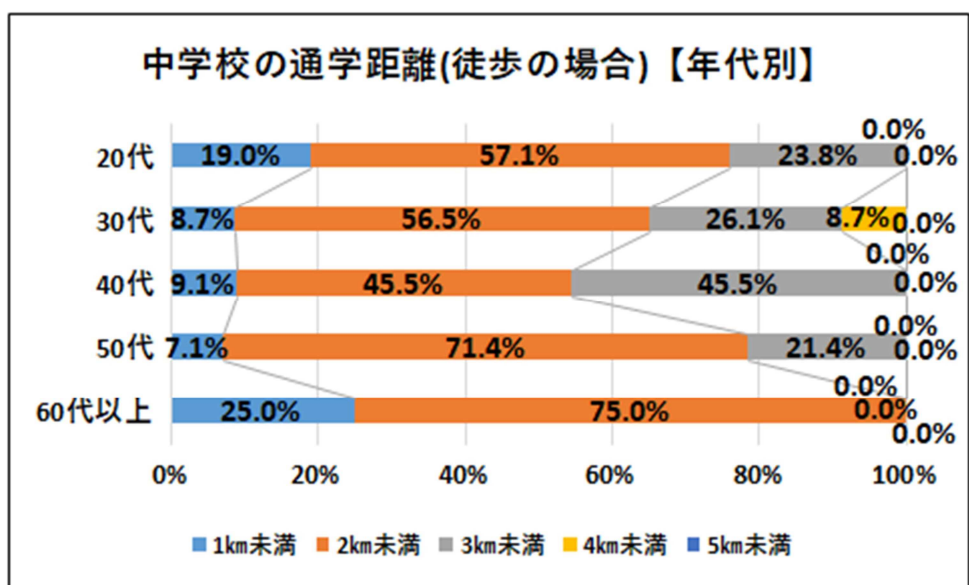
(サンプル数) 20代:37、30代:27、40代:22、50代:32、60代以上:3

中学校の通学方法別の適切だと思う通学距離について、徒歩の場合は「2 km未満」の割合が61.4%と最も割合が高くなっており、続いて、「3 km未満」の割合が25%、「1 km未満」の割合が11.4%となっている。



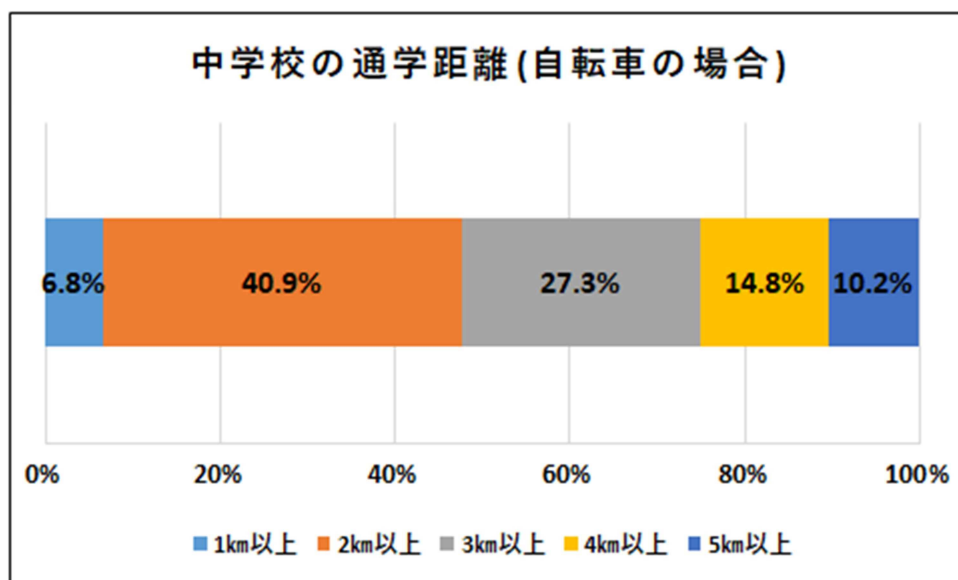
(サンプル数)88

中学校の通学距離(徒歩の場合)を年代別にみると、「2 km未満」の割合が20代は57.1%、30代は56.5%、50代は71.4%、60代以上は75%と最も高くなっており、40代は「2 km未満」と「3 km未満」の割合が45.5%と同じ割合になっている。



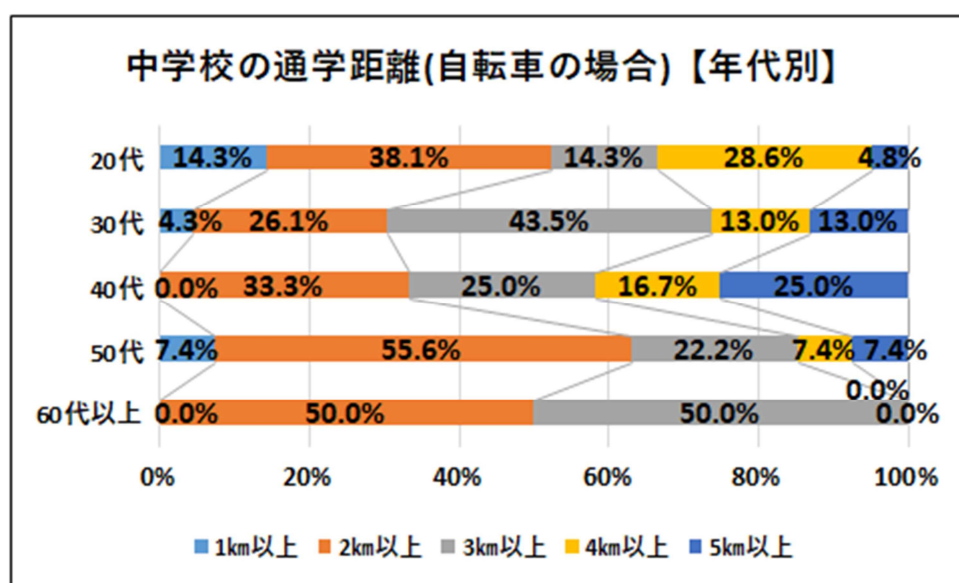
(サンプル数)20代:21、30代:23、40代:11、50代:28、60代以上:4

中学校の通学方法別の適切だと思う通学距離について、自転車の場合は「2 km以上」の割合が40.9%ともっとも高くなっており、続いて、「3 km以上」が27.3%、「4 km以上」が14.8%となっている。



(サンプル数)88

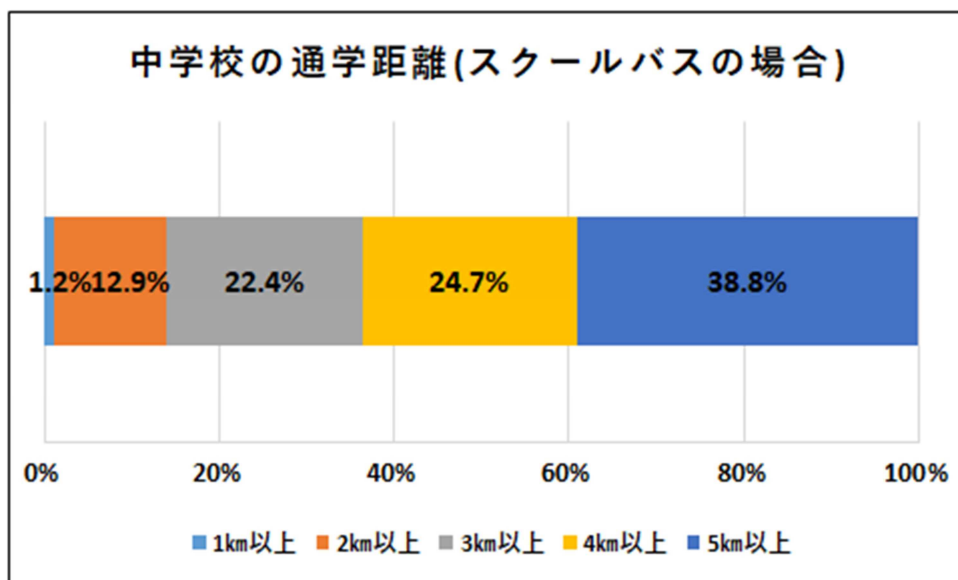
中学校の通学距離(自転車の場合)を年代別にみると、「2 km以上」の割合が20代は38.1%、40代は33.3%、50代は55.6%ともっとも高くなっており、30代では「3 km以上」の割合が43.5%がもっとも高く、60代以上では、「2 km以上と3 km以上」の割合が50%で同じ割合となっている。



(サンプル数)20代:21、30代:23、40代:12、50代:27、60代以上:4

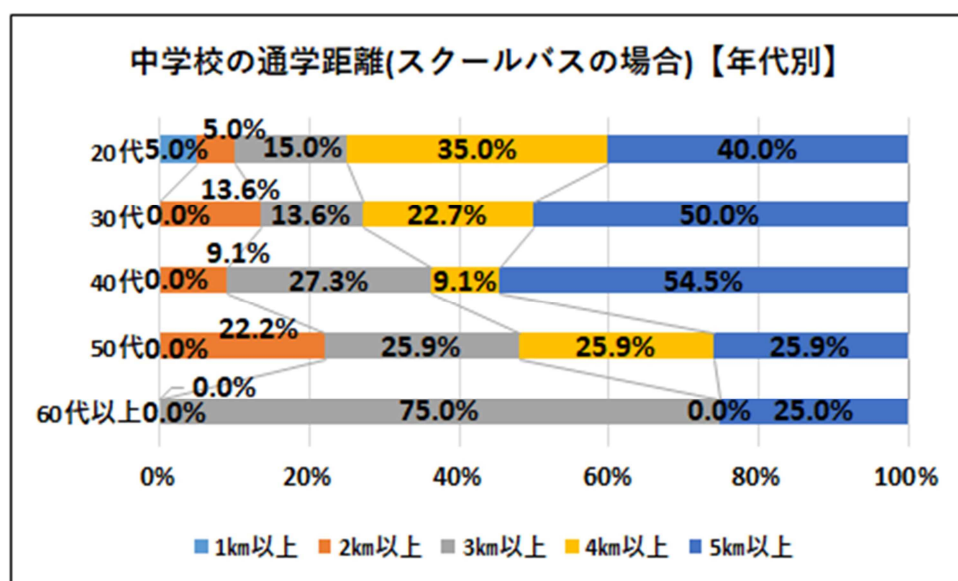


中学校の通学方法別の適切だと思う通学距離について、スクールバスの場合は「5 km以上」の割合が38.8%と最も高く、続いて、「4 km以上」は24.7%、3 km以上は22.4%となっている。



(サンプル数)85

中学校の通学距離(スクールバスの場合)を年代別にみると、「5 km以上」の割合が20代は40%、30代は50%、40代が54.5%と最も高くなっており、60代では「3 km以上」の割合が75%と最も高くなっている。50代は「2 km以上」が22.2%で、「3 km以上」「4 km以上」「5 km以上」がそれぞれ25.9%となっている。

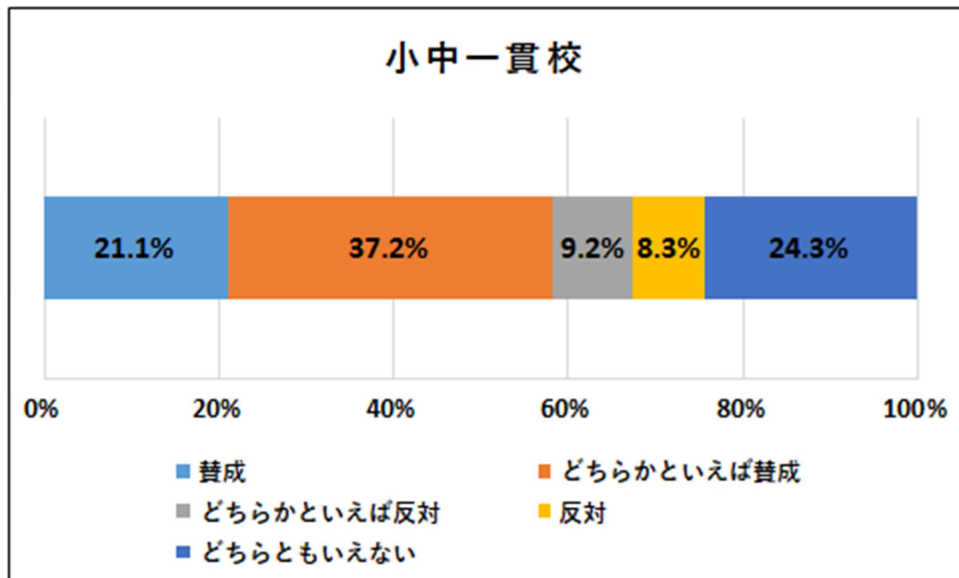


(サンプル数)20代:20、30代:22、40代:11、50代:27、60代以上:4

(2) 小中一貫校や学校の自由選択制、学校施設と市民体育館や図書館、プールなどの複合化の取組み

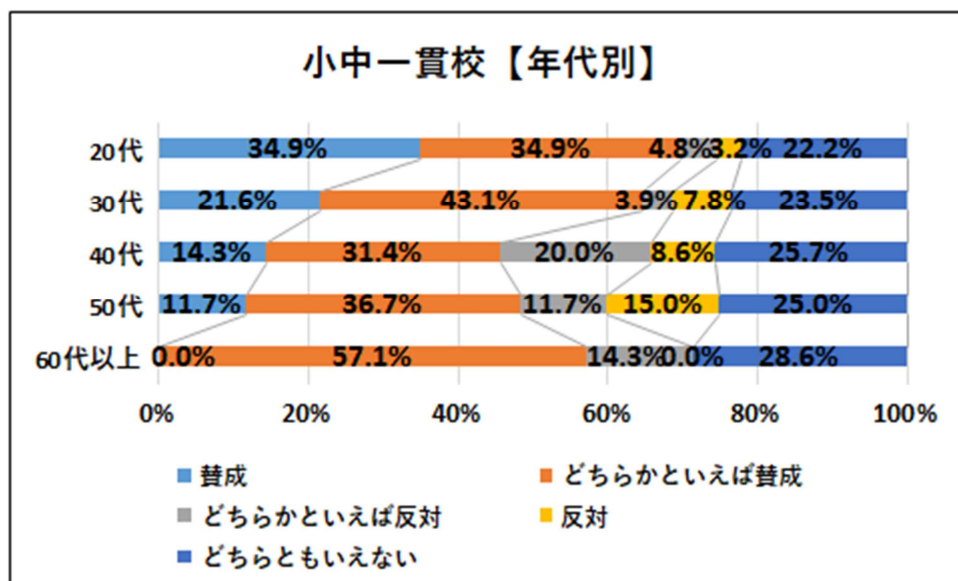
①小中一貫校について

小中一貫校として、9年間を通じた教育課程を編成し、体系的な教育を目指すことについて、「賛成」「どちらかといえば賛成」が58.3%と5割を超えている。



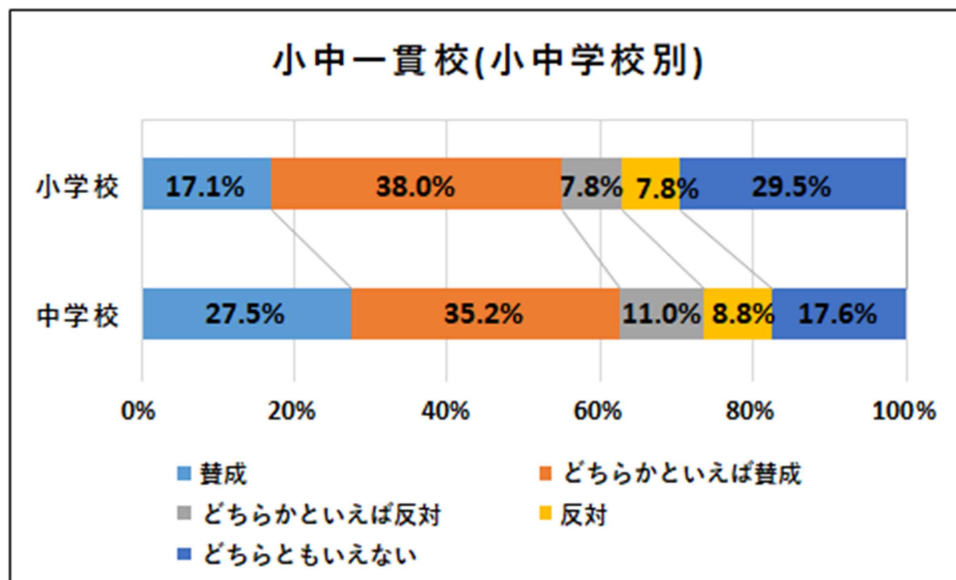
(サンプル数)218

小中一貫校の取組みについて、年代別で見ると、「賛成」「どちらかといえば賛成」が、20代では69.8%、30代では64.7%、60代では57.1%となっている。



(サンプル数)20代:63、30代:51、40代:35、50代:60、60代以上:7

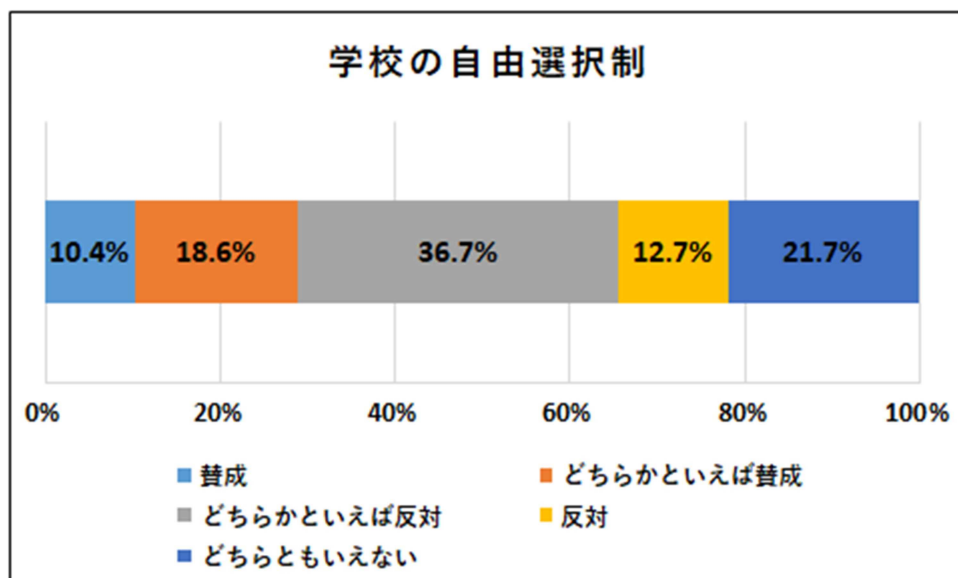
小中一貫校の取組みについて、小中学校別でみると、「賛成」「どちらかといえば賛成」が、小学校は55.1%、中学校は62.7%となっている。



(サンプル数)小学校:129、中学校:91

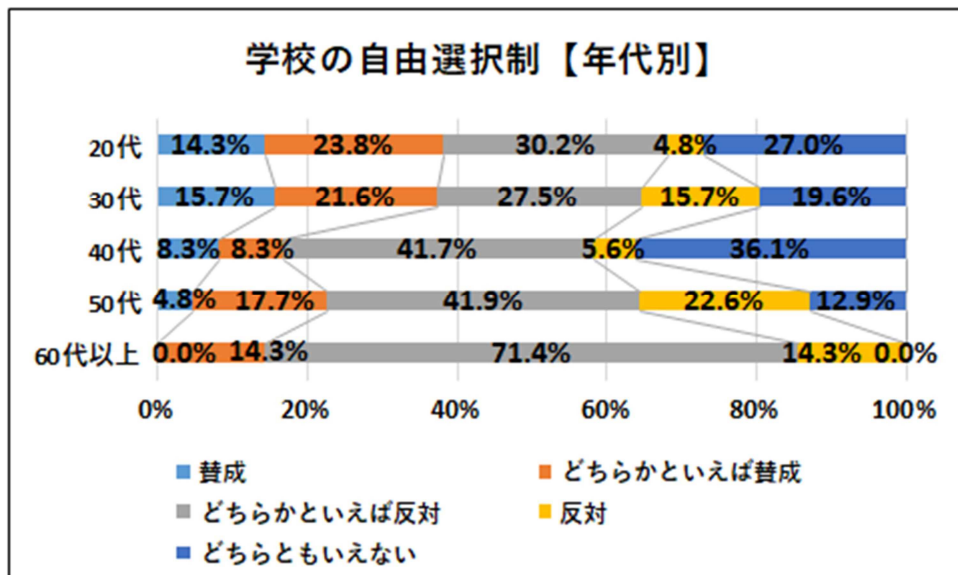
## ②学校の自由選択制について

通学する学校を住所地の学校区だけでなく、市内の他の学校を自由を選択する制度について、「どちらかといえば反対」が36.7%ともっとも割合が高く、「どちらかといえば反対」「反対」を合わせると49.4%なり、約5割となっている。



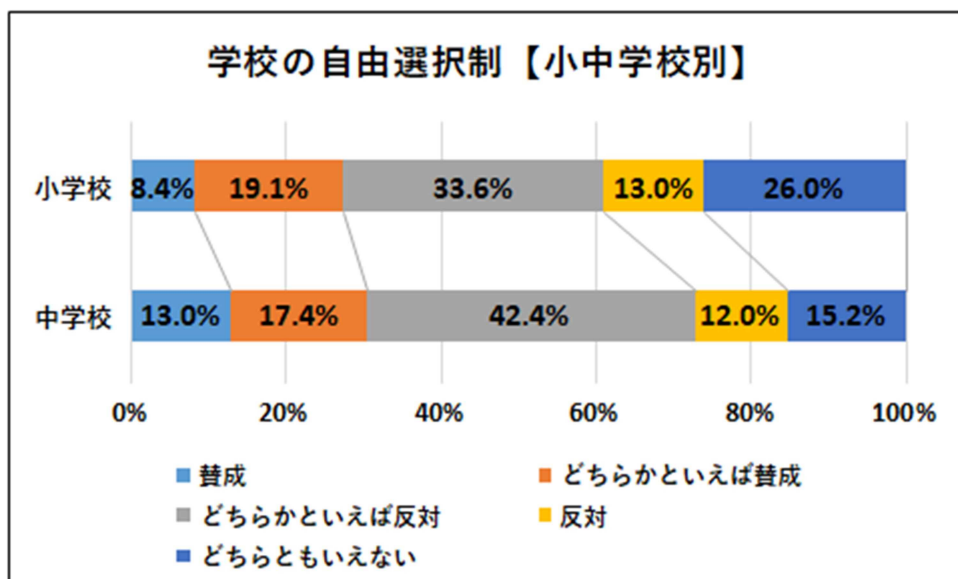
(サンプル数)221

学校の自由選択制について、年代別でみると20代では、「賛成」「どちらかといえば賛成」が38.1%、「どちらかといえば反対」「反対」が35%と賛成する意見が多いが、その他の年代では、「どちらかといえば反対」「反対」の意見の割合が高くなっている。特に50代では6割、60代以上では8割を超えている。



(サンプル数)20代:63、30代:51、40代:36、50代:62、60代以上:7

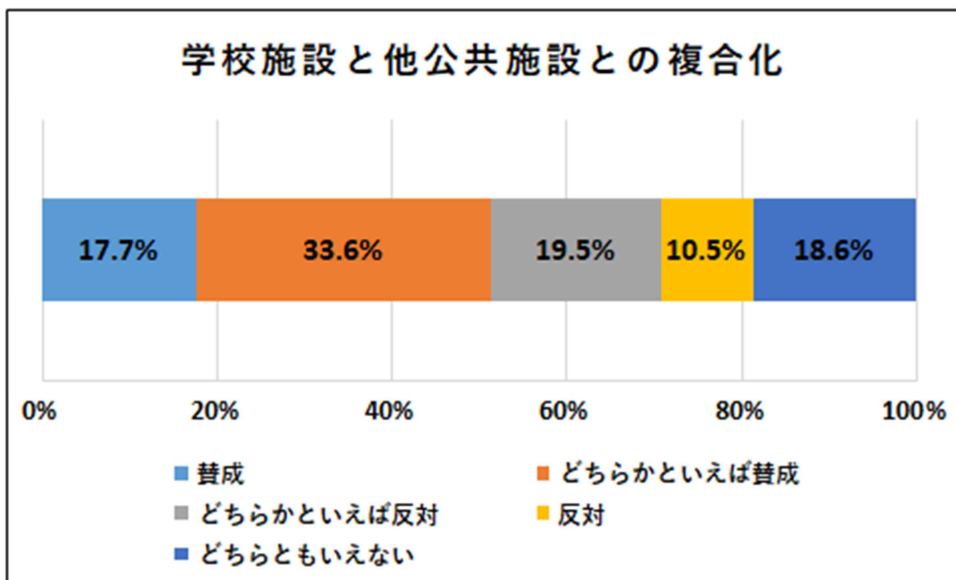
学校の自由選択制について、小中学校別に見ると、「どちらかといえば反対」が小学校は33.6%、中学校は42.4%ともっとも割合が高くなっている。



(サンプル数)小学校:131、中学校:92

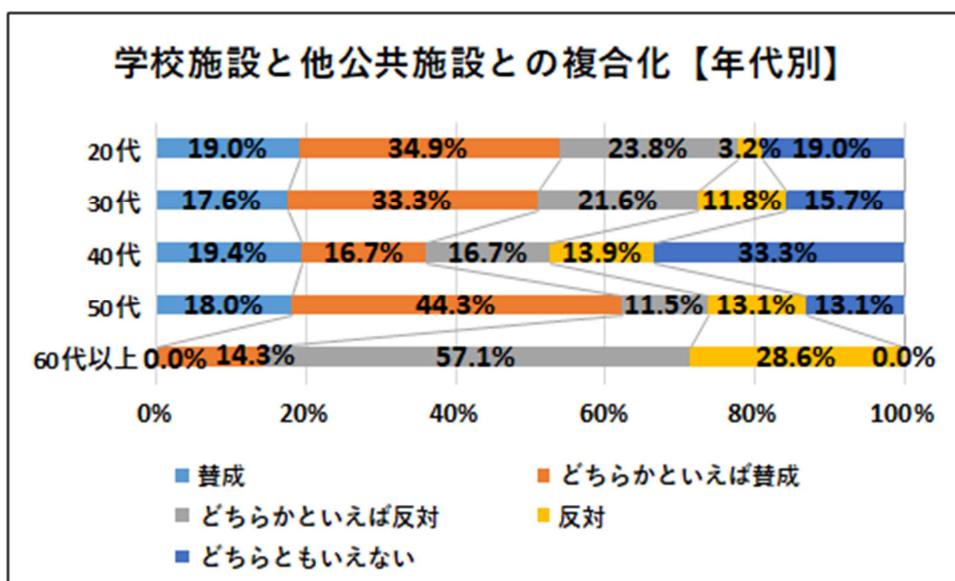
### ③学校施設とその他の公共施設との複合化について

学校施設とその他の公共施設(市民体育館や図書館、プールなど)との複合化について、「どちらかといえば賛成」が33.6%ともっとも割合が高く、「賛成」と合わせると51.3%となり、5割を超えている。



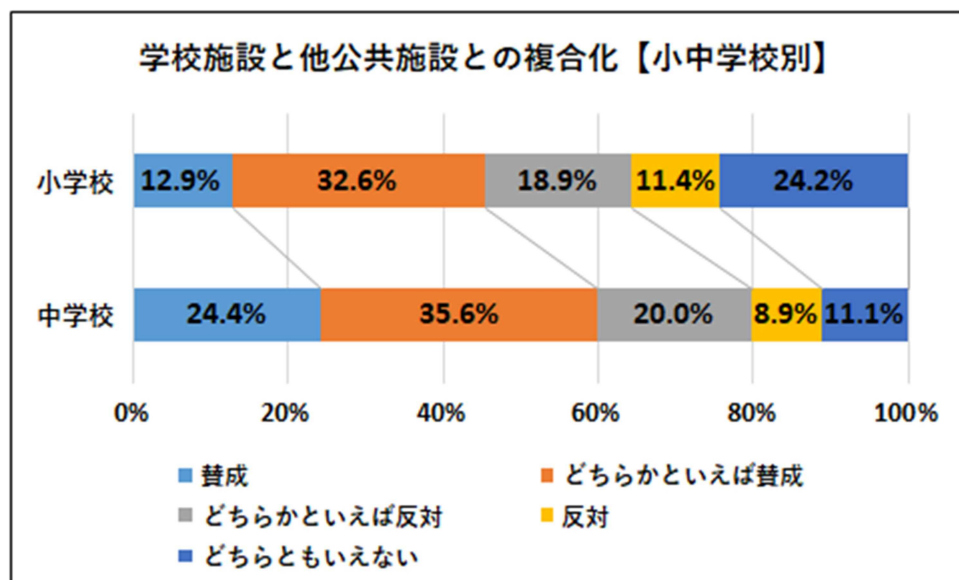
(サンプル数)220

学校施設とその他の公共施設との複合化について、年代別でみると「どちらかといえば賛成」が20代は34.9%、30代は33.3%、50代は44.3%ともっとも割合が高くなっているが、60代では、「どちらかといえば反対」が57.1%ともっとも割合が高い。40代は、「どちらともいえない」が33.3%でもっとも高く、その他は1割から2割の間となっている。



(サンプル数)20代:63、30代:51、40代:36、50代:61、60代以上:7

学校施設とその他の公共施設との複合化について、小中学校別にみると、「どちらかといえば賛成」が、小学校では32.6%、中学校では35.6%ともっとも割合が高くなっている。



(サンプル数)小学校:132、中学校:90

### (3) 将来の学校のあり方や学校と地域との関わりについて（自由記述）

小 学 校	
将来の学校（再編）	<p>教育活動の充実、学校施設の機能の向上のための小中一貫校の設置。                      小中一貫校になったときの児童間の問題。                      小中一貫校の調査研究                      小中一貫校や学校とその他の公共施設の複合化のメリットデメリットが想像できない。                      小中一貫校による小中教員の意識の差や業務量の増加を心配。校種のよさを大切にすべき。                      市民、子どものことを考えた改善                      新しい形の模索                      再編による子ども負担（通学距離や起床時刻など）が増えないようにしてほしい。                      学校再編後の小中給食施設の分離してほしい。                      学校再編によりスクールバス等を運行した場合、遅れる子や不登校が増加する懸念がある。                      学校再編によるスクールバスを運行した場合の感染症対策                      各学校がこれまで積み上げてきた取組が継続できる学校づくり。                      適正な校区の改編、地域との関わり方の再構築。                      学校施設とその他の公共施設との複合化で子どもの安全確保と市民の活用の利便性が両立できるか心配。                      自由選択制による頻繁な転校が心配。                      施設設備も重要だが、ソフト面（子育てや地域との連携）も重視すべき</p>
学校と地域の関わり	<p>地域全体で子育てするまちづくり                      地域防災やコミュニティ機能の今後の検討                      学校、地域、協力・連携していくことの整理                      児童との交流の促進                      市民の意見の反映                      地域、教員の意見の反映（コミュニティスクールの導入）                      地域との連携強化                      地域の学校運営への協力の重要性や要望への対応。                      教員、保護者、地域住民の意見聴取。                      まち協の方の協力の重要性                      見守りや除草、地域の方からの協力の重要性                      あいさつ運動や見守りを通じた地域との関わり方の継続、除草等への保護者の参加を促す。                      見守りの重要性                      草刈りの重要性</p>
その他	<p>教員の増員(2)                      事務員の増員                      各校への栄養教諭の配置                      用務員の配置                      職場環境の改善(2)                      学習道具や器材、備品等の充実                      施設設備の改善（体育館へのエアコン設置）                      通学路の安全対策（歩行者用押しボタン式信号の設置）                      家庭での食育の重要性</p>

※( )は件数。

中 学 校

<p>将来の学校 (再編)</p>	<p>小中一貫になると人間関係が変わらず、節目もなく、小中どちらにも悪い影響を与えそう。小規模で人間関係が保てている生徒も多くいる。 小中一貫校には課題が多く、教職員の負担や子どもの負担が多い。 校区再編となると遠方から登校する子どもには新しい負担が生まれる。 小中一貫校などの大規模校は反対。多くの不登校をかかえ、スクールバス等の利用になると、子どもたちの足が学校から遠のく。公教育はそういったきびしい子たちに目を向けたものをもってなくてはならない。 各学校で文化や歴史、伝統があり、簡単に統合すべきでない。 少人数のクラスで複数の教師が指導にあたる体制は必要不可欠。 通学区域は慎重に決定すべき 市へ転入したいと思われる施設が重要。 郷土愛を育むことが重要で、校舎の整備は必要不可欠。 安全に登下校できる環境づくりやされいな学校で生活できることが大切。 子どもの学びを止めず、豊かに保障していくためには、学校再編と地域の施設等の複合化は不可避。 生徒にとって快適かつ安全、お互いに刺激し合い、伸びていける環境を整えてほしい。 各学校には地域性や生徒の個性があり、どのような形が一番生徒にとっていいのか話あってほしい。 教員や地域にも計画的に徹底して周知するよう少しずつ進めてほしい。 保護者、地域の意見の聴取の必要性。教員への説明の必要性。 学校再編までの間の学校施設の現状はどうなるのか。</p>
<p>学校と地域の 関わり</p>	<p>地域と学校のつながりがますます重要 地域が主体となって児童、生徒の見守りが行われる体制づくりが必要。継続、持続可能な体制づくり。 地域と子どもたちが繋がる取組の促進することで、地域の方と共に子ども育てるという繋がりに結び付く。 地域の方が学校に積極的に関わられる状況である方がよい。 地域の積極的な協力の重要性 地域と一緒に取組める行事等があれば、地域とコミュニケーションもとれる。 除草作業等が、一部の職員の負担にならないようにしてほしい。 除草に地域の方がボランティアで来校されている。今後もその関わりがあると嬉しい。 防災や見守り、除草での地域との連携。 除草等活動への参加に協力を得たい。</p>
<p>その他</p>	<p>学校に対する予算の確保(2) 部活動の外部委託 伝統文化や自然にあるものに目を向けたり手にしたり感じる機会あれよい。 グラウンドやコート草抜きなど管理が大変である。</p>

※( )は件数。

## 市内小中学校施設等の現状把握に向けた教員アンケート調査について

現在、中間市教育委員会では、今後の学校施設のあり方を検討するため、学識経験者、小中学校 PTA 代表、地域代表者、校長代表、教員代表をお招きし、「中間市学校施設再編基本計画策定委員会」を開催しております。このたび、現在の小中学校の施設の状況や児童生徒の学校における生活環境を把握し、将来の学校のあり方を検討する基礎資料とするため、教員の方を対象としたアンケート調査を実施させていただきますこととなりました。

お忙しいところお手数をお掛けいたしますが、本調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。なお、調査結果はすべて統計的な処理にのみ使用し、調査の目的以外に使用することはありませんので、ご安心ください。

令和3年5月

中間市教育委員会 教育施設課

### 【記入に当たってのお願い】

- ご記入は、校長、教頭、主幹・指導教諭、教諭、助教諭、講師（非常勤講師を除く）を対象といたしますので、現時点（記入時）の状況をお答えください。
- ご記入は、無記名で調査票に直接、ボールペン等でご記入ください。

アンケート回答締め切り：令和3年6月4日（金）まで

- 調査票は、各学校で取りまとめていただき、使送便で教育施設課にお送りください。

（お問合せ先）中間市教育委員会 教育施設課 計画係 山口・浅田 直通：246-6221

### 調査項目

#### I あなたの勤務されている学校の現状について（※該当番号に○をしてください。）

##### 問1 勤務されている学校名をお答えください。

- (1) 底井野小学校 (2) 中間東小学校 (3) 中間小学校 (4) 中間北小学校 (5) 中間南小学校  
(6) 中間西小学校 (7) 中間中学校 (8) 中間北中学校 (9) 中間東中学校 (10) 中間南中学校

##### 問2 あなたの年齢をお答えください。

- (1) 20代 (2) 30代 (3) 40代 (4) 50代 (5) 60代以上

##### 問3 あなたの勤続年数をお答えください。

- (1) 5年未満 (2) 5年以上 10年未満 (3) 10年以上 20年未満 (4) 20年以上 30年未満  
(5) 30年以上

##### 問4 あなたが勤務している学校の施設設備についてお尋ねします。

- 1 校舎（教室、トイレ、手洗いなど）の設備について全体としてどのように感じていますか。  
(1) 良い (2) やや良い (3) やや悪い (4) 悪い



2 体育館、運動場、プール、遊具などの設備について全体としてどのように感じていますか。

- (1) 良い (2) やや良い (3) やや悪い (4) 悪い

3 職員室の設備（部屋の広さ、執務のしやすさ、パソコンの環境）などについてどのように感じていますか。

- (1) 良い (2) やや良い (3) やや悪い (4) 悪い

4 学習に必要な黒板や掲示板、教壇、その他備品等について全体としてどのように感じていますか。

- (1) 良い (2) やや良い (3) やや悪い (4) 悪い

**問5 あなたが勤務している学校の児童生徒数や学級数についてお尋ねします。**

1 勤務している学校の児童生徒数について、学校行事などの教育活動を行う上で、あなたはどのように考えますか。

- (1) 多い (2) やや多い (3) やや少ない (4) 少ない

2 勤務している学校の学級数について、学校行事などの教育活動を行う上で、あなたはどのように考えますか。

- (1) 多い (2) やや多い (3) やや少ない (4) 少ない

3 教室での学習やクラブ活動などが、今の児童生徒数で充分実施できていると考えますか。

- (1) できている (2) まあまあできている (3) あまりできていない (4) できていない

4 授業や学校行事、学校運営（学級経営）等を考慮した場合、1学級の児童生徒数は何人が望ましいと考えますか。

**【小学校】※小学校にお勤めの場合にお答えください。**

- (1) 20人未満 (2) 20人以上25人未満 (3) 25人以上30人未満  
(4) 30人以上35人未満 (5) 35人以上

**【中学校】※中学校にお勤めの場合にお答えください。**

- (1) 20人未満 (2) 20人以上25人未満 (3) 25人以上30人未満  
(4) 30人以上35人未満 (5) 35人以上

5 授業や学校行事、学校運営（学年経営）等を考慮した場合、1学年の学級数は何学級が望ましいと考えますか。

**【小学校】※小学校にお勤めの場合にお答えください。**

- (1) 1学級 (2) 2学級 (3) 3学級 (4) 4学級 (5) 5学級 (6) 6学級以上

**【中学校】※中学校にお勤めの場合にお答えください。**

- (1) 1学級 (2) 2学級 (3) 3学級 (4) 4学級 (5) 5学級 (6) 6学級以上

問6 あなたが勤務している学校について、問4の施設設備面、問5の児童生徒数における課題や問題点、改善に取り組んでほしい内容がございましたらご記入ください。

## II 中間市の将来の学校のあり方について（※該当番号に○をつけてください。）

現在の中間市の小学校の児童数は約1,800人、中学校は生徒数は約900人です。

20年後の2040年の児童数は約1,000人、生徒数は約500人となり、今の児童生徒数よりかなり少なくなると推計されています。また、ほとんどの学校で建設後40年を経過し、雨漏りやランドセルの入らない収納棚、開け閉めがしづらい教室の扉など施設が著しく老朽化しています。全国の中では、学校を再編し、小中一貫校の新設や学校施設と市民体育館や図書館の複合使用など、地域の実情に適した新しい取り組みを行っている自治体もあります。

問7 中間市の将来の学校のあり方についてお尋ねします。

1 現在の小学校6校、中学校4校の将来のあり方について、施設の老朽化、少子化、ICTを含む学習環境の変化、新型コロナウイルス感染症などの新しい課題に対応するため、学校を再編し、適正な位置に適正な規模の学校を新設もしくは改築等して、子どもたちの教育環境（施設面）を充実させることについてどのように考えますか。

- (1) そうすべき (2) どちらかといえばそうべき (3) どちらかといえばそう思わない  
(4) そう思わない (5) どちらともいえない

2 今後の少子化を見据え、将来の小学校及び中学校の学校数、そして学級数はどのくらいが望ましいと考えますか。

【小学校】（学校数）※小学校にお勤めの場合にお答えください。

- (1) 1校 (2) 2校 (3) 3校 (4) 4校 (5) 5校 (6) 6校

【小学校】（1学年の学級数）※小学校にお勤めの場合にお答えください。

- (1) 1学級 (2) 2学級 (3) 3学級 (4) 4学級 (5) 5学級 (6) 6学級以上

【中学校】（学校数）※中学校にお勤めの場合にお答えください。

- (1) 1校 (2) 2校 (3) 3校 (4) 4校

【中学校】（1学年の学級数）※中学校にお勤めの場合にお答えください。

- (1) 1学級 (2) 2学級 (3) 3学級 (4) 4学級 (5) 5学級 (6) 6学級以上

3 小学校及び中学校の通学方法別の適切だと思う通学距離はどのくらいだと思いますか。

【小学校】※小学校にお勤めの場合にお答えください。

＜徒歩の場合＞

(1) 1 km未満 (2) 2 km未満 (3) 3 km未満 (4) 4 km未満 (5) 5 km未満

＜スクールバスを運行した場合＞

(1) 1 km以上 (2) 2 km以上 (3) 3 km以上 (4) 4 km以上 (5) 5 km以上

【中学校】※中学校にお勤めの場合にお答えください。

＜徒歩の場合＞

(1) 1 km未満 (2) 2 km未満 (3) 3 km未満 (4) 4 km未満 (5) 5 km未満

＜自転車の場合＞

(1) 1 km以上 (2) 2 km以上 (3) 3 km以上 (4) 4 km以上 (5) 5 km以上

＜スクールバスを運行した場合＞

(1) 1 km以上 (2) 2 km以上 (3) 3 km以上 (4) 4 km以上 (5) 5 km以上

問8 小中一貫校や学校の自由選択制、学校施設と市民体育館や図書館、プールなどの複合化する取組みについてお尋ねします。

1 小中一貫校として、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指すことについてどのように考えますか。

(1)賛成 (2)どちらかといえば賛成 (3)どちらかといえば反対 (4)反対 (5)どちらともいえない

2 通学する学校を住所地の学区だけでなく、市内の他の学校を自由に選択する制度についてどのように考えますか。

(1)賛成 (2)どちらかといえば賛成 (3)どちらかといえば反対 (4)反対 (5)どちらともいえない

3 学校施設とその他の公共施設（市民体育館や図書館、プールなど）との複合化についてどのように考えますか。

(1)賛成 (2)どちらかといえば賛成 (3)どちらかといえば反対 (4)反対 (5)どちらともいえない

問9 中間市の将来の学校のあり方や学校と地域との関わり（防災や見守り、除草等）について、ご意見等ございましたらご記入ください。

--

～ ご質問は以上です。ご協力ありがとうございました ～